平成30年度(平成29年度実施事業)

八潮市まち・ひと・しごと創生

総合戦略事業評価調書

基本目標1

・産業の振興と就労支援によるいき いきと働ける環境づくり

総合戦略 基本目標別総括評価シート(対象:H29年度実施事業)

基本目標 1 産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり

基本目標 の趣旨 都心への近接性や交通アクセスのよさを活かした八潮産の農産物や工業製品のブランド化による販路拡大や商店街の活性化等により、市内産業を振興するとともに、就労機会を拡大し、就労人口の増加を図る。

	数值目標											
指標名	指標名 単位 現状値			H27	H28	H29	H30	H31				
法人市民税納税義務者数(法人均等割	Y	3, 554	計画	3, 642	3, 730	3, 818	3, 906	3, 994				
納税義務者数)	入	(H26年度)	実績	3, 633	3, 676	3, 682						
八潮市の有効求人倍率(年度の平均			計画	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持				
値)		(H26年度)	実績	1. 49	1.96	2. 29						
八潮市ふるさとハローワーク相談者の	Y		計画	320	320	320	320	320				
就職人数(年間)	人	(H26年度)	実績	268	277	314						
就労支援による新規就業者数(累計)	Į.	_	計画	_		6	9	10				
加刀又1仮による利 加州未日奴(糸司)	人		実績	_		2						

			事業の状	況	
事務事業名	活動評価	KPI名	達成度評価	方向性	備考
1 経営体支援事業	Α	中川周辺農地で生産する農地所有適格法人数及び農家数	Α	現状のまま継続	
2 地産地消推進事業	В	直壳所壳上高	В	現状のまま継続	
3 ふれあい農業促進事業		体験農園数	С	見直して継続(手段を改善)	
4 商店街活性化推進事業		事業活用数	_	見直して継続(手段を改善)	
5 中心商業拠点の形成事業		八潮駅周辺における商店街組織数		現状のまま継続	
6 商業支援事業		事業活用数		現状のまま継続	
7 工業振興事業	Α	認定品数		見直して継続(重点化(拡充))	
8 経営改善支援事業【先行型事業】		市内事業所へのヒアリング			平成27年度に事業は終了した
9 経営革新取組企業支援事業		承認取得事業所数		現状のまま継続	
10 災害時の業務継続計画策定支援事業		業務継続計画策定件数		現状のまま継続	
11 企業立地推進事業		誘致に向けた情報提供数	Α	現状のまま継続	
12 北部拠点まちづくり事業		北部地区の進出事業所数	_	見直して継続(重点化(拡充))	
13 労働セミナー開催事業		セミナー参加者数		見直して継続(重点化(拡充))	
14 雇用安定事業	Α	ジョブトレーニング参加者数	С	現状のまま継続	

事務事業名	1 経営体支援	後事)	業	部	市民活力推進部		課	都市農業	課			
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	わいと活力のあるまち~								
松口可凹	大施策(節)	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり(原	竟にやさしい魅力ある都市型農業づくり(農業)								
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			数値目	標					
	基本的方向	1	立地条件を活かした都市型農業の振興		指標名	単位	現状値	<u>(</u> (H27)	目標値(H31)			
総合戦略	具体的な施策	1	農業の担い手支援と環境保全型農業の推進	法人市民税納税業	衰務者数 (法人均等割納税義務者数)	人	3, 554	(H26年度)	3, 994			
心 口 牧师			周辺農地における農業経営の安定化を図るため、分散した農地 木農地を活用した農地の集約利用を促進するなど、農地集約の仕	八潮市の有効	カボ人倍率 (年度の平均値)		1.50	(H26年度)	現状値と同程度を維持			
	事業内容	組み	小展地で沿市した展地の集制が引用を促進するなど、展地集制が加 を整えるとともに、法人化等による農業規模の拡大を進める。 川周辺農地において質の高い農産物を生産するため、農地の受け	八潮市ふるさとハ	ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320	(H26年度)	360			
			「同心辰地において買い高い辰座物を王座するため、辰地の文的 有機栽培を行えるよう支援する。	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		_	10			

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)
Н27	農地利用集積円滑化事業により、集積を申し出た件数4件、農地の出し手となる農業者4人、受け手となる農業者は2人となった。	0
Н28	農地利用集積円滑化事業により、集積を申し出た件数2件、農地の出し手及び受け手それぞれ2人となった。中川農地受け手有機肥料購入補助金として、313,300円支出。中川農地出し手利用円滑化事業補助金として、75,192円を支出した。	389
Н29	農地利用集積円滑化事業により、集積を申し出た件数1件、農地の出し手及び受け手それぞれ1人となった。中川農地受け手有機肥料購入補助金として、30,720円支出。中川農地出し手利用円滑化事業補助金として、594,532円を支出した。	626
Н30	農地利用集積円滑化事業により、農地の集積化を図る。 農地の受け手に対して、有機肥料購入費の一部を補助する。 農地の出し手に対して、利用円滑化事業補助金を交付する。	750
Н31	農地利用集積円滑化事業により、農地の集積化を図る。 農地の受け手に対して、有機肥料購入費の一部を補助する。 農地の出し手に対して、利用円滑化事業補助金を交付する。	600

_					•							
				事美	業の評価							
	1	H29年度0)活動の3	実施状況の評値	西							
	•	A:概ねでき	た(80%以上	B:あまりで	きなかった(80%未満)	C:泪	5動できな	かった				
	理由											
	2	H29年度0	KPI	達成度								
	•	A:達成し <i>†</i>	= (100%)	B:概ね達	成できた(80%以上)	C:達原	成できなかっ	た(80%未満)				
	理由	中川周辺農地で生産する農地所有適格法人数及び農家数を平成29年度は累計8件と計画したところ、現状値と実績を合わせ実績件数が9件となったため、達成したと判断した。										
	3	成果向上	のための	課題と対応策	į							
	課題	農業者の高齢化・担い手不足により、出し手となる農業者が多くなる。一方、 意欲的に経営規模を拡大する受け手となる農業者は少なくなるため、出し手と 受け手をマッチングさせ、事業を推進することが困難となる恐れがある。										
	対応											
			● :現4	犬のまま継続	:休止•廃	止	:終了•完	了				
		方向性	:見证	直して継続	:他事業と	:統合して	継続					
			\rightarrow	重点化(拡充)	手段を改善	効率・1	簡素化	その他				

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
中川周辺農地で生産する農地所有適格	<i>(</i> / -	9	計画	4	6	8	9	10
法人数及び農家数	17	۷	実績	6	8	9		

事務事業名	2 地産地消	進進	事業	部	市民活力推進部		課	都市農業調	果			
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	わいと活力のあるまち~								
松口町四	大施策(節)	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり(原	竟にやさしい魅力ある都市型農業づくり(農業)								
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			数値目	標					
	基本的方向	1	立地条件を活かした都市型農業の振興		指標名	単位	現状値	(H27)	目標値(H31)			
総合戦略	具体的な施策	2	農産物のブランド化による販路の拡大	法人市民税納税業	衰務者数 (法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H	H26年度)	3, 99			
心 口 牧师		· 新	たな需要の拡大や販路の開拓を促進するため、本市独自	八潮市の有効	カボ人倍率 (年度の平均値)		1.50(H	H26年度)	現状値と同程度を維持			
	事業内容	の認	定制度の創設による八潮の八つの野菜のブランド化や、		ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H	H26年度)	36			
		肎報	発信によるイメージアップを支援する。	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		_	1			

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)
Н27	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPR事業を展開した。	0
Н28	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPR事業を展開した。さらに、八潮産農産物のイメージアップと消費拡大を図るため、認定農業者及びエコファーマーが使用することができる農業用包装資材(FG袋)の版下を作成した。80,900枚の発注があった。	73
Н29	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPR事業を展開した。さらに、補助団体が作成した「やしお八つの野菜のクリアファイル」と「八潮の野菜直売所」の幟旗を活用し、八潮産農産物のイメージアップと消費拡大を図った。	0
Н30	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPR事業を展開する。	0
Н31	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPR事業を展開する。	0

						事第	€の	評価					
1)	H29年度0)活動	の実	施状	況の評価	T						
		A:概ねでき	t=(80%	以上)		B:あまりで	きなか	った(80%未満)		C:Ä	舌動できれ	<i>31</i>	かった
_	里由	が連続して出店した影響もあり、売上げ実績が計画額に達しなかった。											
2)	H29年度0) K P	Ι達	成度								
		A:達成し <i>†</i>	= (100	%)		B:概ね達	成でき	きた(80%以上)		C:達	成できなかっ	ot:	(80%未満)
	田田												
3		成果向上	のたと	めの፤	果題。	と対応策							
記是	里里	全・新鮮	な野菜	をを常	字に提	是供しな	けれ	費拡大を ばならない 図らなけれ	, \ ₀	その	ためにに		
	意欲と能力がある農業者の育成「認定農業者」、堆肥による土作りと 化学合成肥料・農薬の使用低減に取り組むとともに、農業者の技術向 上に努める。また、八潮産農産物のイメージアップを図るため、PR事 業を展開する。												
	● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了												
		方向性	:	見直	して	継続		:他事業と	統合	iして	継続		
			\rightarrow	直	直点化	比(拡充)	手	段を改善	交	」率•	簡素化		その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
直売所売上高(年間)	Ш	70 000 000	計画	80, 000, 000	85, 000, 000	90, 000, 000	95, 000, 000	100, 000, 000
但元別死工局(平周)	LJ	70, 000, 000	実績	84, 195, 454	90, 993, 240	86, 244, 835		

事務事業名	3 ふれあい農	農業信	足進事業	部	市民活力推進部		課	都市農業	果		
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	わいと活力のあるまち~							
松口計画	大施策(節)	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり(原	農業)							
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			数値目	標				
	基本的方向	1	立地条件を活かした都市型農業の振興		指標名	単位	現状値	<u>i</u> (H27)	目標値(H31)		
総合戦略	具体的な施策	3	農地の保全と有効活用の促進	法人市民税納税業	虔務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3, 994		
心口料店				八潮市の有効	カボ人倍率 (年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持		
	事業内容	・本 め、	市の都市型農業と農産物のPRをより効果的に行うた 遊休農地等を活用した農業体験を促進する。	八潮市ふるさとハ	ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年度)	360		
				就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人			10		

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価
			① H29年度の活動の実施状況の評価
H27	平成28年度から農業体験事業を実施するための事業費の確保及び実施者である農業者の確保、調整を行った。	0	A: 概ねできた(80%以上) ■ B: あまりできなかった(80%未満) C: 活動できなかった
	の惟休及び夫虺有である辰耒有の惟休、調整を打るた。		理 事業を実施する農業者を確保すべく協力の依頼を行なったが、結果、協力者1件となり、農業体験の計画件数3件に対して実績1件であったため。
1100	사로 INTANGOUZHWUNG CHUIA	100	
H28	枝豆・小松菜栽培の親子農業体験を実施した。	100	A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) ● C:達成できなかった(80%未満)
			理
			世 農業体験の計画件数3件に対して実績が1件であるため。
H29	枝豆栽培の親子農業体験を実施した。	100	 ③ 成果向上のための課題と対応策
			農業体験を実施するためには、事業を実施する農業者を確保し、事業
			への協力(圃場の確保、時期、品種などの調整)を得ることが必要で
H30	 農業体験事業を実施する。	300	ある。
			対 農業委員会からの情報を基に協力者を確保するとともに、農業団体等
			応 に農業体験事業の周知を図り、協力を依頼する。
	ath NIC II ma at NIC 2 at IC. 2		:現状のまま継続:休止・廃止:終了・完了
Н31	農業体験事業を実施する。	300	方向性 ●:見直して継続:他事業と統合して継続
			□ 重点化(拡充) ■ 手段を改善 効率・簡素化 その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
体験農園数	国	_	計画	0	3	3	3	3
平歌 辰 图 奴	剧		実績	0	1	1		

事務事業名	4 商店街活性	比比	推進事業	部	市民活力推進部		課	商工観光	課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	わいと活力	1のあるまち~				
松口可凹	大施策(節)	2	魅力あふれる商業づくり(商業・サービス業)						
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			数値目	標		
	基本的方向	2	魅力ある商業環境の創出		単位	現状値	<u>I</u> (H27)	目標値(H31)	
総合戦略	具体的な施策	1	商店街の活性化	法人市民税納税義	衰務者数 (法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3, 994
心 口 牧师				八潮市の有効	カ求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持
	事業内容	・商き店	店街の活性化を図るため、市民団体や事業者等による空 舗等の活用を支援する。	八潮市ふるさとハ	ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年度)	360
				就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		_	10

				就労支援による新規就業者数(累計) 人 一 10						
	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		事業の評価						
	モデルケースとして市内1商店会において、NPOを立			① H29年度の活動の実施状況の評価						
H27	ち上げ商店会における空き店舗等を活用した、宅配事	0	H	A:概ねできた(80%以上) ● B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった						
	業、カフェ等の実施に向けた検討が行われた。			■ 商店会の活性化を図るため、セミナー等に参加し、空き店舗の活用等 ■ を含めた先進自治体の事例について調査研究を行った。						
	前年度に引き続き、モデルケースとして市内1商店会に									
H28	おける空き店舗等の活用について検討を行ったが、運営	0		② H29年度のKPI達成度 A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)						
	組織や予算等の問題から実現には至らなかった。									
	商店会の活性化を図るため、セミナー等に参加し、空き			理 由						
H29	店舗の活用を含めた先進自治体の事例について調査研究	0		③ 成果向上のための課題と対応策						
	を行った。									
				□ 商店会が抱えるさまざまな課題について、現状の把握ができていな□ しゅ□ しゅ<						
H30	商店会にアドバイザーを派遣し、空き店舗対策を含め、 商店会の課題解決に向けた専門的な相談やアドバイスを	0								
	実施する。			対 商店会にアドバイザーを派遣し、第三者の視点から、空き店舗対策を						
			╽							
H31	前年度に実施したアドバイザー派遣事業を踏まえ、支援			:現状のまま継続:休止・廃止:終了・完了						
1101	策を実施する。			方向性 ●:見直して継続 :他事業と統合して継続						
				□ □ □ □ □ □ □ □ □ □						

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
事業活用数(累計)	华 .	_	計画	_	_	_	1	2
尹未伯用奴(糸司)			実績	0	0	0		

事務事業名	5 中心商業物	1.点(の形成事業	部 市民活力推進部 課 商工観光課							
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	わいと活力	1のあるまち~						
松口計画	大施策(節)	2	魅力あふれる商業づくり(商業・サービス業)								
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標							
	基本的方向	2	魅力ある商業環境の創出		指標名	単位	現状値	<u>(</u> (H27)	目標値(H31)		
総合戦略	具体的な施策	2	中心商業拠点の形成	法人市民税納税業	虔務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3, 994		
心口料店	総合戦略		心商業拠点を形成するため、八潮駅周辺の事業者の組織	八潮市の有効	カボ人倍率 (年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持		
		化を	推進し、市内商店街との連携を図り、市内全域の商業活	八潮市ふるさとハ	ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年度)	360		
		1±1Ľ	を支援する。	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		_	10		

				M 月 入 版による	10
	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	1	事業の評価	
				① H29年度の活動の実施状況の評価	
H27	中心商業拠点を形成するため、八潮駅周辺の事業者の組	0		● A: 概ねできた(80%以上) B: あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった	tc
1121	織化に向けた検討を行った。			理 「八潮駅周辺商業集積状況調査」を実施し、駅周辺の商業集積につい 由 て把握することができた。	V \
			1		
H28	中心商業拠点を形成するため、八潮駅周辺の事業者の組	0		② H29年度のKPI達成度	
1120	織化に向け、調査内容の検討を行った。			A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) C: 達成できなかった(80%)	未満)
				理	
	 平成30年度に、八潮駅周辺の事業者の組織化等に向けた			曲	
H29	調査を行うため、「八潮駅周辺商業集積状況調査」を実	0		 ③ 成果向上のための課題と対応策	
	施し、調査対象の把握を行った。				
			1	課 八潮駅周辺における事業者の組織化や共同事業に対する意向の把握:	を
1120	前年度実施した調査による事業者を対象として、「八潮即用刀充業者舎向笠調本」な実施して知嫌化の共同事業	2 402			
нз0	駅周辺商業者意向等調査」を実施して組織化や共同事業 等を含めた意向調査を行う。	2, 493		対「八潮駅周辺商業者意向等調査」を実施し、事業者の組織化や共同	重
				応業にに対する意向を把握する。	7'
H31	前年度実施した調査を踏まえ、八潮市商工会と連携し、 組織化や共同事業に対する必要な支援を行う。	0		●:現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了	
				方向性 : 見直して継続 : 他事業と統合して継続 □→ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その	D./#h
					ノル

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
八潮駅周辺における商店街組織数	化	_	計画			_		1
(累計)	ŀ		実績	0	0	0		

事務事業名	6 商業支援事	業		部 市民活力推進部 課 商工観光課									
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	わいと活力	1のあるまち~								
松口計画	大施策(節)	2	魅力あふれる商業づくり(商業・サービス業)										
	基本目標 1 産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づく				数値目標								
	基本的方向	2	魅力ある商業環境の創出		指標名	単位	現状値	(H27)	目標値(H31)				
総合戦略	具体的な施策	3	個店の活性化	法人市民税納税業	虔務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(I	H26年度)	3, 994				
心 口 牧师	・市内商店の継続的な経営を支援するため、専門家による		内商店の継続的な経営を支援するため、専門家による経	八潮市の有効	カボ人倍率 (年度の平均値)		1.50(I	H26年度)	現状値と同程度を維持				
	事業内容		善に向けた指導や事業継続に関する相談等を実施する。 内の商業支援や後継者確保のため、交歓・交流イベント	八潮市ふるさとハ	ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320 (I	H26年度)	360				
		の開	催等を支援する。	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		_	10				

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	
H27	市内商店の活性化のために、専門家による一店逸品運動 参加店舗の経営診断(店舗診断)を、3店舗に対して 行った。	100	① 理 由
H28	市内商店の活性化のために、専門家による一店逸品運動 参加店舗の経営診断(店舗診断)を、3店舗に対して 行った。	100	2
Н29	市内商店の活性化のために、店舗診断を希望する店舗を 対象に専門家による経営診断(店舗診断)を、3店舗に 対して行った。	100	理 由 3
Н30	市内商店の活性化のために、店舗診断を希望する店舗を 対象に専門家による経営診断(店舗診断)を、2店舗に 対して行う。	100	問題 文 穴
Н31	市内商店の活性化のために、店舗診断を希望する店舗を 対象に専門家による経営診断(店舗診断)を、2店舗に 対して行う。 市内商店の後継者確保のためのセミナーを実施する。	200	<i>I</i>

	事業の評価											
<u>(1)</u>	H29年度 <i>0</i>	活動の生	施状況の評価	14 - 7 - 11 - 1								
_	N20十及0			 きなかった(80%未満)		C:活動でき ⁷	なかった					
理由	市内商店の活性化のために、店舗診断を希望する店舗に対して、経営 診断(店舗診断)を行った。											
2	H29年度のKPI達成度											
•	A:達成し <i>†</i>	=(100%)	B:概ね達	成できた(80%以上)	C:達成できなか~	った(80%未満)					
理由	平成29年度は、3店舗に対して経営診断(店舗診断)を行ったため、KPIとして設定した事業活用数を達成できた。											
3	成果向上	のための詞	課題と対応策	Ę								
			音確保のため こつなげる必	に必要な支援 要がある。	策に	ついて検討る	を進め、					
対応	市内商業者の後継者確保のためのセミナーを実施する。											
	_	● :現状	のまま継続	:休止•廃	止	:終了•5	完了					
	方向性	: 見直	して継続	:他事業	≤統合	して継続						
			重点化(拡充)	手段を改善	交	カ率∙簡素化	その他					

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
事業活用数 (累計)	<i>(</i> ;+-	_	計画	2	4	6	8	10
争未位用数(糸司)			実績	3	6	9		

事務事業名	7 工業振興事	事業		部 市民活力推進部 課 商工観光課							
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	** わいと活力のあるまち~							
160日日四	大施策(節)	3	活力ある工業づくり(工業)								
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標							
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興		指標名	単位	現状値	<u>I</u> (H27)	目標値(H	H31)	
総合戦略	具体的な施策	1	工業製品のブランド化による販路の拡大	法人市民税納税業	§務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3, 554(H26年度)		3, 994	
心口料心		・新たの製品	- な販路を開拓し、受注機会の拡大を図るため、展示会・見本市などへ事業所 - 等を出展する際の支援を充実させる。	八潮市の有効	助求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程原	度を維持	
	事業内容	るとと	さもに、情報発信しセールスするなど、巾か積極的に支援する。	八潮巾かるさとハ	ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年度)		360	
			集製品の八潮ブランドを確立するため、専門家による審査を実施し、質の高い 認定を行う。	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		_		10	

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		
H27	市内の中小企業者が新たな販路を開拓し、受注機会の拡大を図るため、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を4事業所に対して行った。 また、八潮ブランドの確立に向けて、先進自治体の事例研究を行った。	310		H29年度の活動の A:概ねできた(80%以上 平成29年度は、 品及び加工品4製
H28	八潮市内で製造・生産された優れた工業製品2製品を「八潮ブランド 〜世界に誇るまちの逸品〜」として認定した。 また、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を行っ た。	381	2	た。 H29年度のKPIi A:達成した(100%)
H29	八潮市内で製造・生産された優れた工業製品、工芸品及び加工品 4 製品を「八潮ブランド」として認定し、認定品のPRを行った。また、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を行った。	508	3	成果向上のための
Н30	八潮市内で製造・生産・開発された優れた製品を「八潮ブランド」として認定するとともに、認定品のPRを行っていく。 市内製造業者が実施する、ワークショップに対し後援等の必要な支援を行う。 また、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を行う。	1, 397	題	八潮ブランド認定 るために、より効 八潮ブランド認定 所の他に、展示会
Н31	八潮市内で製造・生産・開発された優れた製品を「八潮ブランド」として認定するとともに、認定品のPRを行っていく。 ブランド認定された製品を冊子としてまとめる。 また、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を行う。	2, 042		ていく。 :現2 方向性 ● :見ī □ :見ī

_		779679678 11 98	(7)7	<i>/</i> \									
				事業の記	评価								
1	H29年度 <i>の</i>)活動の実	施状況の	評価									
	A:概ねでき	た(80%以上)	B∶あま	りできなか・	った(80%未満)	С	:活動でき	なかった					
理由	品及の加工品4製品を「八潮ノフント」として認定することができた。 た。												
2	② H29年度のKPI達成度												
	A: 達成した	= (100%)	B:概	ね達成でき	た(80%以上)	С	:達成できなか	った(80%未満)					
理由		平成29年度は、八潮ブランドとして4製品を認定できたため、KP Iとして設定した認定品数を達成できた。											
3	成果向上	のための誤	課題と対 応	た策									
誤		ンド認定品 より効果					地域の活	性化を図					
	対 八潮ブランド認定品のポスターやチラシを作成し、市役所、駅前出張 所の他に、展示会や各種イベント等あらゆる機会においてPRを行っ ていく。												
		:現状	のまま継	続	:休止•廃」	止	:終了•	完了					
	方向性	● :見直	して継続		:他事業と	統合し	て継続						
		□ ■ 重	点化(拡	充) 手	段を改善	効率	ॺ∙簡素化	その他					

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
認定品数(累計)	ПП	_	計画	_	2	3	4	5
	白白日		実績	0	2	6		

事務事業名	9 経営革新耳	文組3	企業支援事業	部	市民活力推進部		課	商工観光記	果			
総合計画	施策の柱(章)	4	業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち〜									
松口計画	大施策(節)	3	活力ある工業づくり(工業)	ある工業づくり(工業)								
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			数値目	標					
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興		指標名	単位	現状値	<u>I</u> (H27)	目標値(H31)			
総合戦略	具体的な施策	2	操業支援による活力ある事業所の維持・雇用の創出	法人市民税納税業	§務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3, 554(H26年度)	3, 994			
心口料心		• 経	営の向上を図るため、中小企業新事業活動促進法に基づ	八潮市の有効	助求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持			
		き、	中小企業が行う新技術の活用や異分野連携による新事業		ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年度)	360			
		用扣	などを支援する。	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		_	10			

			
	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価
			① H29年度の活動の実施状況の評価
H2	7 経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経	200	A:概ねできた(80%以上) ● B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった
112	営革新アドバイザーを3事業所に対して派遣した。	200	理
	。 経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経		
H2		162	A: 達成した(100%) ● B: 概ね達成できた(80%以上) C: 達成できなかった(80%未満
			TT T-400万度09分钟扩展了表现后用中央工程以下014元之 10 II D I
	経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経		■ 平成29年度の経営革新計画承認取得事業所数は2件であり、KPI 由 として設定した承認取得事業所数の3件を下回ったため。
Н2	営革新アドバイザーを派遣を予定であったが、平成29	0	
	年度は派遣希望が無かった。		③ 成果向上のための課題と対応策
			課 (4) ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
			課題 経営革新計画策定のメリット等、市内事業所へのPRが必要である。
НЗ	とおりは 経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経営革新アドバイザーを派遣する。	200	
	HAMIT IN CONDENSE		対 市内事業者に対する経営革新計画策定のメリット等を含めたPR活動
			応 の拡充を図る。
110	 経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経	222	● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了
НЗ	営革新アドバイザーを派遣する。	200	方向性:見直して継続:他事業と統合して継続
			□→ ■重点化(拡充) ■手段を改善 対率・簡素化 ■その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
承認取得事業所数(年間)	化	_	計画	3	3	3	3	3
承祕取侍事未別致(中间)	17		実績	4	8	2		

事務事業名	10 災害時の第	美務網	継続計画策定支援事業	部	市民活力推進部		課	商工観光記	課				
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち〜									
松口計画	大施策(節)	3	活力ある工業づくり(工業)	」 ある工業づくり(工業)									
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標									
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興		指標名	単位	現状値	重 (H27)	目標値(H31)				
総合戦略	具体的な施策	2	操業支援による活力ある事業所の維持・雇用の創出	法人市民税納税靠	虔務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3, 554(H26年度)	3, 994				
心口料店	・災害			害が発生した際、事業継承のために複数の戦略や基本的	八潮市の有効	カボ人倍率 (年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持			
		組状況を明確にするなど、業務継続計画を立案できるよ		ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年度)	360					
		クヌ	抜りる。	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人			10				

				_							
		事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		事業の評価						
		平成30年度の業務継続計画策定支援セミナーの実施に			_	129年度の活動の実施状況の評価 B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった					
		向けて、検討を行った。	0		理平	P成30年度の事業実施に向けて、先進自治体の事例等の情報収集を Tった。					
1	H28	平成30年度の業務継続計画策定支援セミナーの実施に	0			129年度のKPI達成度					
	1120	向けて、検討を行った。			A :	A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) C: 達成できなかった(80%未満)					
					理						
					由						
	H29	平成30年度の商工業セミナー(災害時の業務継続計画等字書類)実施に向けて検討な行った。	0			*B + 1 - 0 + 1 - 0 = B 1 + 1 + 1 + 1 + 1					
		彦定支援)実施に向けて検討を行った。				成果向上のための課題と対応策					
					課 状	P小企業においては災害時の業務継続計画の策定が、1割程度と非常に少ない 大況である。災害が発生した際に、速やかに事業を再開するため、業務継続計					
					題画	町を事前に策定しておくことの重要性を多くの事業者に認識してもらう必要が					
1		平成31年度の商工業セミナー(災害時の業務継続計画	0		あ	ත්රි.					
		策定支援)実施に向けて、検討を行う。			対災	災害時の業務継続計画策定が、災害後の企業の存続のため、非常に重					
					安	要であることを認識してもらうためにセミナーを開催し、中小企業に					
					刈	対する支援を行う。					
		商工業セミナー(災害時の業務継続計画策定支援)を実	100			● :現状のまま継続 : 休止・廃止 :終了・完了					
	1101	施する。	100		方	「向性 : 見直して継続 : 他事業と統合して継続					
						□ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他					

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
業務継続計画策定件数(年間)	佐	_	計画	_	_	_	5	5
未伤胚就計画來是什数(中间)	17		実績	0	0	0		

事務事業名	11 企業立地推	推	事業	部	市民活力推進部		課	商工観光	課			
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎ	*わいと活力のあるまち~								
松口可凹	大施策(節)	3	活力ある工業づくり(工業))ある工業づくり(工業)								
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標								
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興		指標名	単位	現状値	恒 (H27)	目標値	(H31)		
総合戦略	具体的な施策	2	操業支援による活力ある事業所の維持・雇用の創出	法人市民税納税	義務者数 (法人均等割納税義務者数)	人	3, 554(H26年度)		3, 994		
心口料心			業系用途地域の占める割合が高い本市の特性を活かし、	八潮市の有効	助求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同	程度を維持		
	事業内容	事業内容 関係機関と連携を図り、空き不動産情報の提供を行うなど		八潮市ふるさとハ	トローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年度)		360		
		企業	誘致を推進する。	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		_		10		

			就労支援による新規就業者数(累計) 人 人 ー ー						
	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価						
H27	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な 空き不動産情報の提供を行った。	0	 ① H29年度の活動の実施状況の評価 A:概ねできた(80%以上) ● B:あまりできなかった(80%未満) 理 新たに市内に立地を希望する企業から、空き不動産情報に関する問い由 合わせがあった場合に、適宜情報提供した。 						
H28	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な 空き不動産情報の提供を行った。	0	② H29年度のKPI達成度 ■ A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未)						
Н29	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な 空き不動産情報の提供を行った。	0	理 不動産の空き地情報についての問合わせに対し、KPIとして設定し由 た目標値を上回る、年間11件の情報提供を行ったため。 ③ 成果向上のための課題と対応策						
Н30	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な 空き不動産情報の提供を行う。	0	課 空き不動産情報の提供については、市単独で実施することは困難であり、埼玉県との連携が必要である。 対 埼玉県との連携をより一層充実させていく。						
Н31	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な 空き不動産情報の提供を行う。	0	□ □ :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了 :見直して継続 :他事業と統合して継続 □						

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
誘致に向けた情報提供数(年間)	华 .	_	計画	10	10	10	10	10
防奴に四川た旧報定供奴(牛间)			実績	12	10	11		

事務事業名	12 北部拠点す	きち	づくり事業	部	都市デザイン部		課都市計	画課 他						
総合計画	施策の柱(章)	5	都市基盤・環境〜快適でやすらぎと潤いのある	†基盤・環境〜快適でやすらぎと潤いのあるまち〜										
松口計四	大施策(節)	1	自然と調和した都市空間づくり(土地利用)	と調和した都市空間づくり(土地利用)										
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標										
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興		指標名	単位	現状値 (H27)	目標値(H31)						
総合戦略	具体的な施策	2	操業支援による活力ある事業所の維持・雇用の創出	法人市民税納税	虔務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年)	度) 3,994						
祁口牧哈		• 個	別開発による企業立地を促進するため、北部拠点まちづ	八潮市の有効	別求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年)	度) 現状値と同程度を維持						
	事業内容	くり推進地区まちづくり計画を策定し、北部拠点の形成を促		八潮市ふるさとハ	ローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年)	度) 360						
		進す	ବ୍ଦ	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		- 10						

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価						
			① H29年度の活動の実施状況の評価						
H27	北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画(案)をと	7, 112	● A: 概ねできた(80%以上)B:あまりできなかった(80%未満)C:活動できなか	った					
1121	りまとめた。	1,112	理 (仮称)外環八潮PAの都市計画決定に向け、埼玉県等の関係機関、ネク日本と協議を行い、概ねの調整を図ることができた。						
	北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画を7月に決		また、(仮称)外環八側スマート10の形状快討を始めることができたた	<i>(</i>).					
H28	定した。 また、7月に発足した「地権者の会」と連携し、(仮称)	2,810	② H29年度のKPI達成度						
1129	外環八潮PAの整備を促進するため、事業者であるネク	2, 010	A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) C: 達成できなかった(80%未満)					
	スコ東日本に対し、要望活動を行った。		理						
	(仮称)外環八潮РАの都市計画決定に向け、埼玉県等の		由						
H29	関係機関と協議を行い、概ねの調整が図られた。 また、(仮称)外環八潮スマートIC形状検討業務委託を	45	 ③ 成果向上のための課題と対応策						
	発注した。		③ 成朱円工のための味趣と対応束						
			課 北部拠点の形成については、(仮称)外環八潮PAの整備に連動す	·るた					
	(仮称)外環八潮PAの都市計画決定に向けた手続きを進める。		題め、事業進捗の管理が難しい。						
H30	また、(仮称)外環八潮スマートIC及び(仮称)入谷	8, 843							
	東西線の整備に向け、最適案の検証を行う。		対 (仮称)外環八潮PAの早期整備に向け、地元地域、ネクスコ東日	本及					
	 (仮称)外環八潮スマートICの概略設計業務及び(仮		応 び市が情報を共有し連携を図るとともに、課題の解決に取組む。						
110 5	称)入谷東西線概略設計業務を行う。	10.440	:現状のまま継続:休止・廃止:終了・完了	,					
H31	また、(仮称)外環八潮スマートICについて、国土交通 省へ提出する連結許可申請手続に必要となる検討を進め	10, 440	方向性 ●:見直して継続:他事業と統合して継続						
	るためスマートIC勉強会を開催する。			その他					

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
北部地区の進出事業所数(累計)	車業品	0	計画	_	_	_	_	1
	事業所		実績	0	0	0		

事務事業名	13 労働セミブ	١	開催事業	部	市民活力推進部		課	商工観光記	果					
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち〜										
松口計画	大施策(節)	5	いきいきと働ける就業環境づくり(労働)	<u>いきいきと働ける就業環境づくり(労働)</u>										
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標										
	基本的方向 4 意欲ある若者やそれを支える家族に対する支援によ		意欲ある若者やそれを支える家族に対する支援による就労機会の拡大		指標名	単位	現状値	<u>I</u> (H27)	目標値(H31)					
総合戦略	具体的な施策	1	きめ細かな就労支援による就労機会の拡大	法人市民税納税	義務者数 (法人均等割納税義務者数)	人	3, 554(H26年度)	3, 994					
心口料心			労に悩む若者を支援するため、専門家による就職に直結する実践 プログラムにのっとり、グループワークや面接練習を実施する。	八潮市の有効	助求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持					
	事業内容	· 就	カトリングにのうとり、ハルシット、国境体制を支援する。 対に悩む若者を支える家族を支援するため、若者への日常での接などに関する保護者セミナーを実施し、家族間の交流にもつなげ	八潮市ふるさとハ	トローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年度)	360					
		<i>この</i> 。	ょとに対する外段省に、 / と大心し、本状间が火伽にも ブはり	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人		_	10					

			が万久坂による村屋が未有数(糸町)
	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価
H27	平成29年度事業実施に向け、事業内容を検討し、関係機関との連携 を図った。	0	 ① H29年度の活動の実施状況の評価 ● A:概ねできた(80%以上) □ B:あまりできなかった(80%未満) □ C:活動できなかった □ 計画どおりの開催回数を実施できたため。
H28	事業の実施に向け、具体的な事業内容についての検討を行った。	0	② H29年度のKPI達成度 A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) ● C:達成できなかった(80%未満)
H29	就職に悩む若者を支援するため、キャリアコンサルタント等の専門家を講師として、適職診断や就職につながる知識を習得する「若者のための就職支援セミナー」を、年12回通年で開催した。また、就職に悩む若者を支える家族のため、就職に向けて、いかに若者へ日常で接することが有効なのか等をテーマに、「若者を支える家族向けセミナー」を年6回通年で開催した。	540	理由
Н30	就職に悩む若者を支援するため、キャリアコンサルタント等の専門家を講師として、適職診断や就職につながる知識を習得する「若者のための就職支援セミナー」を、年6回開催する。 また、就職に悩む若者を支える家族のため、就職に向けて、いかに若者へ日常で接することが有効なのか等をテーマに、「若者を支える家族向けセミナー」を年3回開催する。	292	課 ナー」及び「若者を支える家族向けセミナー」にどの程度の参加者があるか推移を見守る必要があり、より多くの参加者を集めることが課題である。なお、平成30年度の事業終了後、参加者が「サポートステーション」で引き続き支援を受けることを想定し、「サポートステーション」の周知を計画当初から行う。 対
H31	平成29年度及び平成30年度の事業結果を検証するとともに、今後必要とされる若者への就労支援のあり方について検討し、新たな若者就労支援事業の創設を目指す。 また、就労支援が必要な若者等に対し、「サポートステーション」で開催される「就職支援セミナー」や「家族向けセミナー」、各種相談会等の開催に関する情報を提供する。	0	:現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了

KPI名	単位	現状値		H27	H 28	H 29	H30	H31
セミナー参加者数(年間)	Į.	_	計画	_	_	180	90	_
※若者支援			実績	0	0	113		_

事務事業名	14 雇用安定事	事業		部	市民活力推進部		課	商工観光記	果		
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎる	業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち〜							
松口計画	大施策(節)	5	いきいきと働ける就業環境づくり(労働)								
	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標							
	基本的方向 4		意欲ある若者やそれを支える家族に対する支援による就労機会の拡大		指標名	単位	現状値	₫ (H27)	目標値(H31)		
総合戦略	具体的な施策	1	きめ細かな就労支援による就労機会の拡大	法人市民税納税	義務者数 (法人均等割納税義務者数)	人	3, 554 (H26年度)	3, 994		
心口料店			み事を相談する機会が少ない若者と家族を支援するため、専門家 る「就労相談会」を実施する。	八潮市の有効	助求人倍率 (年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持		
	事業内容	• 働			トローワーク相談者の就職人数 (年間)	人	320(H26年度)	360		
			来が、	就労支援に	よる新規就業者数(累計)	人			10		

	マヨンドレーンノを突起する。		が力又扱による利効が未有数(糸町)
	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価
H27	平成29年度事業実施に向け、事業内容を検討し、関係機関との連携 を図った。	0	 ① H29年度の活動の実施状況の評価 ● A:概ねできた(80%以上) □ B:あまりできなかった(80%未満) □ C:活動できなかった □ サポステと連携し、チラシやポスターを作成し周知した。
H28	平成27年度に引き続き、本市を管轄区域とする地域若者サポートステーション(以下「サポステ」という。)による就労出張相談会が年間12回開催された。 また、ジョブトレーニングの実施に向けた検討を行った。	0	② H29年度のKPI達成度 A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) ● C:達成できなかった(80%未
H29	本市を管轄区域とするサポステによる就労出張相談会を、5月から毎月開催した。 また、ジョブトレーニングの実施についてサポステと調整し、市内外の事業所等で八潮市民が参加できるよう連携した。	0	埋由 ジョブトレーニングの参加希望者がいなかったため。 ③ 成果向上のための課題と対応策
Н30	本市を管轄区域とするサポステによる就労出張相談会を開催する。 また、ジョブトレーニングの実施についてサポステと調整し、市内外 の事業所等で八潮市民が参加できるよう連携する。	0	課 ジョブトレーニングの実施に向けて検討を続けてきたが、参加者への配慮や対応等に 題 いて専門性が必要であると考えられるため、市単独での実施は難しい。 対 ジョブトレーニングは、参加者に対する細やかな配慮等が必要であることから、就労 援の専門機関であるサポステが実施するジョブトレーニング事業との連携による対応 相宗する
H31	平成29年度及び平成30年度の事業結果を検証するとともに、今後必要とされる若者への就労支援のあり方について検討し、新たな若者就労支援事業の創設を目指す。 また、就労支援が必要な若者等に対し、サポステで開催される「就職支援セミナー」や「家族向けセミナー」、各種相談会等の開催に関する情報を提供する。	0	*** *** *** *** *** *** *** *

KPI名	単位	現状値		H27	H 28	H 29	H30	H31
ジョブトレーニング参加者数(年間)	,	_	計画	_	_	9	18	_
ショノトレーニング参加有数(平间)	人		実績	0	0	0		_

基本目標2

・人や情報の交流による [住みやすさナンバー1のまち八潮]の 発信

総合戦略 基本目標別総括評価シート(対象:H29年度実施事業)

基本目標 2 人や情報の交流による [住みやすさナンバー1のまち八潮] の発信

基本目標 の趣旨

本市ならではの資源を活かしたイベントなどをきっかけに、本市への多くの来訪を促し、市外の人に対して本市の魅力を伝えるとともに、市民に本市の魅力に気づいてもらうことで、訪れたくなるまち・住みやすいまちとしての本市の認知度の向上とイメージアップを図る。また、子育てや教育、防災、防犯などの暮らしに関する情報発信の充実や、市民だれもが集い交流できる機会の充実により、市民一人ひとりの住みやすさの向上を図る。

				数値目標				
指標名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
観光資源(「中川やしお水辺の楽校」「中川 やしおフラワーパーク」「やしお駅前公	į.	80,000			200, 000	213, 000	231,000	250,000
マレおファリーバーク」「やしお駅前公 園」)来訪者数(年間)	人	(平成26年度)	実績	187, 000	204, 000	190, 000		
八潮市に「住み続けたい」人の割合(20~40代) ※「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けた	%	39.6 (平成25年度)	計画		41.8	_		45. 0
※「995と住み続けたい」「Cさんは住み続けたい」の合算値(無回答は除いて算出)	7/0		実績	_	50.6	_		
			計画					
			実績					
		_ _	計画					
			実績					

		;	事業の状	況	
事務事業名	活動評価	KPI名	達成度評価	方向性	備考
		中川やしお水辺の楽校来訪者数	A	見直して継続(重点化(拡充))	
1 観光資源開発事業		中川やしおフラワーパーク来訪者数		見直して継続(重点化(拡充))	
		やしお駅前公園来園者数		見直して継続(重点化(拡充))	
2 広報事業		ツイッター、フェイスブックによる情報発信件数		現状のまま継続	
3 コミュニティ施設整備事業		交流サロン活用可能箇所数		見直して継続(手段を改善)	
4 広報事業	Α	やしお840メール配信サービス利用登録件数	Α	現状のまま継続	

事務事業名	1 観光資源開	昇発3	事業	部 市民活力推進部		課商工観光調	果						
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光〜地域の特性を活かしたにぎれ	わいと活力のあるまち~									
形口引四	大施策(節)	4	水と花にふれあう観光づくり(観光)	と花にふれあう観光づくり(観光)									
	基本目標	2	人や情報の交流による [住みやすさナンバー1のまち八潮] の発信	数値目標									
	基本的方向 1 八潮市ならではの資源を活かした来訪者の増加による認知			指標名	単位	現状値 (H27)	目標値(H31)						
総合戦略	具体的な施策	1	八潮市ならではの観光資源等を活用した交流機会の提供	観光資源(「中川やしお水辺の楽校」「中川やしおフラ ワーパーク」「やしお駅前公園」)来訪者数(年間)	人	80,000(H26年度)	250,000						
松石牧哈	事業内容	おいて ・本市	へのより多くの来訪を促すため、豊かな水辺環境を活かし、中川やしお水辺の楽校に 親子が一緒に楽しめるイベント等の開催を促進する。 へのより多くの来訪を促すため、自然豊かな河川敷を活用し、中川やしおフラワー において花桃をはじめ、四季折々の美しい景観が楽しめるイベント等の開催を促進す	八潮市に「住み続けたい」人の割合(20~40代)	%	39.6(H25年度)	45. 0						
		る。 ・本市	へのより多くの来訪を促すため、やしお駅前公園の立地性を活かし、多くの集客が見 多種多様なイベント等の開催を促進する。										

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)
Н27	中川やしお水辺の楽校が開校し、多くのイベントを開催した。 中川やしおフラワーパークにおいて、花桃まつり及び清掃イベントを 開催したほか、ラジオ体操の会場としても日々活用された。 やしお駅前公園において、夏まつり夜市を開催した。	7, 669
Н28	中川やしお水辺の楽校を活用し、多くのイベントを開催した。 中川やしおフラワーパークにおいて、花桃まつり及び清掃イベントを開催 したほか、ラジオ体操の会場としても日々活用された。 やしお駅前公園において、夏まつり夜市・ゆるぽかマルシェ(2回)、朝 市(1回)を開催した。	10, 168
Н29	中川やしお水辺の楽校を活用し、多くのイベントを開催した。 中川やしおフラワーパークにおいて、花桃まつり及び清掃イベントを開催 したほか、ラジオ体操の会場としても日々活用された。また、水辺の楽校 では年間を通じて様々な水に親しむイベントが実施された。 やしお駅前公園において、夏まつり夜市、ゆるぽかマルシェ(2回)、朝 市(3回)を開催した。	11, 020
Н30	中川やしお水辺の楽校を活用し、多くのイベントを開催する。 中川やしおフラワーパークにおいて、前年度同様のイベント等を開催する ほか、新たな集客イベントまたは事業の実施について検討を進める。 やしお駅前公園において、前年度同様のイベント等を開催するほか、新た な集客イベントの開催を目指す。	16, 014
Н31	中川やしお水辺の楽校を活用し、多くのイベントを開催する。 中川やしおフラワーパークにおいて、前年度同様のイベント等を開催する ほか、新たな集客イベントまたは事業の実施を目指す。 やしお駅前公園において、前年度同様のイベント等を開催するほか、新た な集客イベントの開催を目指す。	15, 298

が見												
1					事業の詞	评価						
1	1	H29年度の	活動の実	施状況の	評価							
	•	A:概ねでき	た(80%以上)	B:あま	ミりできなか	った(80%未満)	C: 7	活動できなかった				
	理由 「中川やしお水辺の楽校」で自然を活かした多くのイベントを開催したほか「やしお駅前公園」では、公園の敷地を効果的に活用して「夏まつり夜市」開催するなど、観光資源の開発という面で大きな成果を挙げることができた											
	2	H29年度の	KPI達	成度								
		A:達成した	(100%)	● B:概:	ね達成でき	た(80%以上)	C:達	成できなかっ	た(80%未満)			
	理由	訪者数」は実	基績数値が計画 たため目標値	町数値を上回 直を達成でき	回った。「	来訪者数」及 やしお駅前公 が、イベント	園」は夜市	すが雨天に。	より一部を除			
	3	成果向上	のための訳	果題と対応	芯策							
	課題		る施設であ	らるため、		ラワーパーク ドントの開作						
	対応											
			:現状	のまま継	続	:休止•廃」	E	:終了•5	記了			
1		方向性	●:見直して継続:他事業と統合して継続									
l				点化(拡	充) 手	段を改善	効率・	簡素化	その他			

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
中川やしお水辺の楽校来訪者数	1	10.000	計画	10,000	15,000	20, 000	25, 000	30,000
(年間)	人	10, 000	実績	13, 000	16,000	20, 500		
中川やしおフラワーパーク来訪者数	Į.	70, 000	計画	70,000	75,000	80,000	90, 000	100,000
(年間)	人	70, 000	実績	71, 000	77, 500	80, 500		
やしお駅前公園来園者数(年間)	7	_	計画	_	110,000	113, 000	116, 000	120,000
でしる例的公園不園有数(中間)	人		実績	103, 000	110, 500	89, 000		

事務事業名	2 広報事業			部	企画財政部		課	秘書広報記	果				
総合計画	施策の柱(章)	6	新公共経営~協働で経営する自主・自律のます										
松口計画	大施策(節)	2	市民に開かれたまちづくり(情報共有)	- 民に開かれたまちづくり (情報共有)									
	基本目標	2	人や情報の交流による [住みやすさナンバー1のまち八潮] の発信	数値目標									
	基本的方向	1	八潮市ならではの資源を活かした来訪者の増加による認知度の向上		指標名	単位	現状個	恒 (H27)	目標値(H31)				
総合戦略	具体的な施策	2	多様なメディアを活用した八潮市の魅力の市外への情報発信	観光資源(「中川 ワーパーク」「ギ	やしお水辺の楽校」「中川やしおフラ ・しお駅前公園」)来訪者数(年間)	人	80,000	(H26年度)	250, 000				
心 口 类似口	事業内容	・本市へのより多くの来訪を促すため、ツイッター、フェイスブック、動画配信サイト等を活用し、市内で行われる様々なイベントの宣伝情報や開催風景の動画等を随時、市内外へ発信する。 ・市外の方に本市に関心を持ってもらうため、産業や観光資源など、「八潮		八潮市に「住み	続けたい」人の割合(20~40代)	%	39.6(H25年度)	45. 0				
			ま力」を分析し、様々な広報媒体を用いて効果的に発信する。					·					

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価
110	市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信サービス	14 411	① H29年度の活動の実施状況の評価● A: 概ねできた(80%以上)B: あまりできなかった(80%未満)C:活動できなかった
H2	7 (ツイッター及びフェイスブックに連動)を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報を随時、市内外へ発信した。	14, 411	理由 市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信サービス (ツイッター及びフェイスブックに連動)を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報を随時、市内外へ発信した。
	市ホームページ、広報やしお及びやしお840メールを活用し、市内で行われて様々なくがとしの情報など時、まれば、歌信した		
Н2	で行われる様々なイベントの情報を随時、市内外へ発信した。 3 八潮市の魅力を広く発信し、市のさらなる魅力の向上とイメージ	21, 879	② H29年度のKPI達成度
112	アップを図るため、「八潮市シティセールスプラン」を策定し	21,010	● A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)
	た。		理 やしお840メール配信サービスの活用によるイベントの情報発信件数
ИЭ	市ホームページ、広報やしお及びやしお840メールを活用し、市内 で行われる様々なイベントの情報を随時、市内外へ発信した。	22, 313	由 は、291件であり、計画件数を達成することができた。
112		22, 515	③ 成果向上のための課題と対応策
			課 メール配信の積極的な活用について、職員の強い意識付けが必要であ
НЗ	SNSを活用した情報発信を強化する。また、動画配信サイト等)を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報や開催風景の動	27, 570	題 る。
110	画等を市内外へ発信する。	21,010	対 対 対 か か が が が が が が が が が が が が が
	SNSを活用した情報発信を強化する。また、動画配信サイト等を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報や開催風景の動画等を市内外へ発信する。		事例や、新たな手法の導入について調査・研究する。
нз		28, 242	● :現状のまま継続 : 休止・廃止 : 終了・完了
113			方向性:見直して継続:他事業と統合して継続
			□ ■ 重点化(拡充) ■ 手段を改善 対率・簡素化 ■ その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
ツイッター、フェイスブックによる情 報発信件数 (年間)	<i>(</i> / -	I 31 F	計画	200	200	200	200	200
	111		実績	65	129	291		

事務事業名	3 コミュニラ	・イカ	施設整備事業	部	市民活力推進部		課	市民協働技	推進課					
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ〜学びとつながりをプ	育文化・コミュニティ〜学びとつながりを大切にするまち〜										
松口計画	大施策(節)	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり (:	れあいと連帯感にみちた地域社会づくり(コミュニティ)										
	基本目標	2	人や情報の交流による [住みやすさナンバー1のまち八潮] の発信	数値目標										
	基本的方向		情報交流機会の充実による市民生活の利便性・快適性の向上		指標名	単位	現状値	<u>i</u> (H27)	目標値(H31)					
総合戦略	具体的な施策	1	既存施設を活用した市民の情報交流の場づくり	観光資源(「中川 ワーパーク」「や	やしお水辺の楽校」「中川やしおフラ しお駅前公園」)来訪者数(年間)	人	80,000(H26年度)	250,000					
心口料店	事業内容	• /\	学生、中高生、高齢者など、市民だれもが気軽に交流で	八潮市に「住み	続けたい」人の割合(20~40代)	%	39.6	H25年度)	45.0					
		きるよう、サロンスペースを市内に確保するとともに、利用のためのルールの検討を行う。												

				
	事業の実施状況(見込み)	事業費(千円)		事業の評価
	楽習館2Fに設置している市民活動支援コーナーや交流			① H29年度の活動の実施状況の評価A: 概ねできた(80%以上) ● B: あまりできなかった(80%未満) C: 活動できなかった
H27	サロンの利用について広く市民に周知した。 埼玉県、企業、市との協働で、介護施設の一部を住民に 貸し出せる施設として設定し、市民団体に紹介した。	0		■ A: 概なできた(80%以上) ■ B: あまりできながらた(80%米海) ■ 0: 活動できながらた ■ NPO団体連絡協議会と市との懇談会を行う中で、コミュニティセン 由 ターの談話室スペースを含む施設活用について引き続き協議した。
	コミュニティセンターの読書談話室スペースの活用について社会教育課と協議した。			② H29年度のKPI達成度
П28	いて社会教育課と協議した。 コミュニティセンターの読書談話室スペースの新たな活 用を市内NPOや社会福祉協議会と協議した。	0		A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) ● C: 達成できなかった(80%未満)
	コミュニティセンターの読書談話室スペースの活用を検 討した。 コミュニティセンターの読書談話室スペースの新たな活用を市内NPOや社会福祉協議会と協議した。			理由 コミュニティセンターの談話室スペースを含む施設活用については、施設へのアクセスや駐車環境等の理由により実施に至らなかった。また、利用可能な企業スペースや空家もなかった。
H29		0		③ 成果向上のための課題と対応策
Н30	企業等の貸し出しスペースや空き家等の活用に関して調査を行う。	0		ままでは、
1100	コミュニティセンターの読書談話室スペースの活用について市内活動団体に周知する。	V		対応 設置後の管理や活用方法については、指定管理者である社会福祉協議会を含め、市内NPO団体や市民活動団体とも協議しながら検討する。また、市民に気軽に利用できるスペースであることを周知する。
Н31	企業等の貸し出しスペースや空き家等の活用に関して引き続き調査を行う。 コミュニティセンターの読書談話室スペースの活用について市内活動団体に周知する。	0		: 現状のまま継続 : 休止・廃止 : 終了・完了 方向性 : 見直して継続 : 他事業と統合して継続
				■ 手段を改善 効率・簡素化 その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
交流サロン活用可能箇所数(累計)	か所	1	計画	3	3	3	5	7
交流サロン活用可能箇所数(累計)	77-771	1	実績	1	1	1		

事務事業名	4 広報事業			部	企画財政部		課	秘書広報記	課			
総合計画	施策の柱(章)	6	「公共経営~協働で経営する自主・自律のまち~									
松口計画	大施策(節)	2	民に開かれたまちづくり(情報共有)									
	基本目標	2	人や情報の交流による [住みやすさナンバー1のまち八潮] の発信	数値目標								
	基本的方向	2	情報交流機会の充実による市民生活の利便性・快適性の向上		指標名	単位	現状値	恒 (H27)	目標値(H31)			
総合戦略	具体的な施策	2	市の広報媒体を活用した情報交流機会の提供	観光資源(「中川 ワーパーク」「や	やしお水辺の楽校」「中川やしおフラ しお駅前公園」)来訪者数(年間)	人	80,0000	(H26年度)	250,000			
心 口 我们			や市外の人が必要とする情報が簡単に得られるよう、市の情報発信の拠点となる ページのリニューアルを行う。	八潮市に「住み	続けたい」人の割合(20~40代)	%	39.6(H25年度)	45.0			
	事業内容	・市民生活に役立つ情報交換を行っている市民団体・NPO等の優良なサイトと連携し、市 民の暮らしに関する情報入手の利便性を向上する。										
			ームページや「広報やしお」「やしお840メール配信サービス」等においてテーマ る情報を配信するなど、市民の満足度の高い情報発信のあり方を研究する。					·				

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		
H27	市ホームページのリニューアルに向けて調査・研究を行うとともに、仕様書等を作成した。 また、市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信サービス等において、積極的に情報発信を行った。	14, 411	① 理由	H29年月 A:概ねで 市ホー いて、
H28	11月1日に、市ホームページのリニューアルを行った。 また、市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール 配信サービス等において、積極的に情報発信を行った。	21, 879	2	H29年』 A:達成 広報や
H29	市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信 サービス等において、積極的に情報発信を行った。	22, 313	理由 ③	当該サ配信を
Н30	関係機関の優良なサイトとの連携について調査・研究する。 また、市ホームページ及び広報やしお並びにやしお840	27, 570	課 題 	市民にである
1100	メールにおいて効果的な情報発信を行うとともに、市民 の満足度の高い情報発信のあり方を研究する。	21,010	対応	先進自 を効率
Н31	関係機関の優良なサイトと連携する。 また、市ホームページ及び広報やしお並びにやしお840 メールにおいて効果的な情報発信を行うとともに、市民 の満足度の高い情報発信を行う。	28, 242		方向性

			事	業の評価								
1	H29年度0	の活動の実	施状況の評	価								
	A:概ねでき	た(80%以上)	B:あまりで	きなかった(80%未満)	C:活動でき	なかった						
理 市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信サービス等にいて、積極的に情報発信を行った。												
2	② H29年度のKPI達成度											
	A:達成し <i>t</i>	- (100%)	B:概ね達	成できた(80%以上)	C:達成できなか	いった(80%未満)						
	理 広報やしおに、やしお840メール配信サービスのQRコードを掲載し、 当該サービスへの登録について周知した。また庁内において、メール 配信を積極的に活用するよう呼びかけを行った。											
3	成果向上	のための記	果題と対応第	र्चे								
課題		って有益な	よ情報を豊富	うかつタイムリ	ーに提供するこ	とが必要						
	対 先進自治体の事例を参考にするなどして、関係団体等の優良なサイト を効率的に活用する。											
● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了												
	方向性	:見直	して継続	:他事業と	統合して継続							
			[点化(拡充)	手段を改善	効率·簡素化	その他						

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
やしお840メール配信サービス利用登 録件数(累計)	<i>(H</i> -	1,500	計画	1, 500	2,000	2,000	2, 000	2,000
	117	1, 500	実績	1, 896	2, 179	2, 400		

基本目標3

・保育や教育の充実による親子が安心で きる子育て環境づくり

総合戦略 基本目標別総括評価シート(対象:H29年度実施事業)

基本目標 3 保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり

の趣旨

基本目標 子どもの保育や教育等に関する環境の充実を図るとともに、親子で出かけられる機会や場所を充実させることで、親が自分の時間等も大切 にしながら楽しく子育てできる、親と子がともに安心して暮らせる環境をつくる。

	数值目標													
指標名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31						
「子育て環境」の満足度 (20~40代) ※「満足」「やや満足」の合算値 (無回答は	%		計画		11. 2		_	16. 0						
然「何た」「不で何た」の古昇他(無回各は 除いて算出)	70	(H25年度)	実績		9. 3									
「学校教育の質」の満足度 (20~40代) ※「満足」「やや満足」の合算値 (無回答は	%		計画		8. 7			12. 4						
除いて算出)	70	(H25年度)	実績		11.5									
			計画											
			実績											
			計画											
			実績											

			事業の状	況	
事務事業名	活動評価	KPI名	達成度評価	方向性	備考
1 地域子育て支援拠点事業		子育てひろば利用者数	Α	見直して継続(手段を改善)	
2 利用者支援事業		子育てコーディネーター相談件数	Α	現状のまま継続	
3 ホームスタート事業	Α	ホームスタート利用者数	С	現状のまま継続	
4 子育て環境改善事業【先行型事業】		補助対象世帯数		現状のまま継続	
5 放課後児童健全育成施設整備事業		学童保育所利用者数	Α	現状のまま継続	
6 学童保育所管理運営事業		学童保育所利用者数		見直して継続(重点化(拡充))	
7 事業所内保育事業		待機児童数		現状のまま継続	
8 小規模保育事業		待機児童数	С	現状のまま継続	
9 子育て環境改善事業【先行型事業】		地域子育て支援拠点利用者数	Α	現状のまま継続	
10 教育指導推進事業	Α	全国学力学習状況調査平均正答率	В	見直して継続(手段を改善)	
11 小中一貫教育推進事業	Α	全国学力学習状況調査平均正答率		見直して継続(手段を改善)	
12 地域人材活用推進事業	Α	土曜勉強会参加者数	Α	見直して継続(手段を改善)	
13 教育指導推進事業	Α	八潮こども夢大学参加者数	Α	見直して継続(重点化(拡充))	
14 家庭教育推進事業	Α	いのちの授業(誕生学)実施回数	В	現状のまま継続	

事務事業名	1 地域子育~	て支持	爱拠点事業	部	子育て福祉部		課	子育て支持	爰課			
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせる	·るまち~								
形口可凹	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひと	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)								
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標								
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状値	恒 (H27)	目標値	(H31)		
総合戦略	具体的な施策	1	交流の場づくりによる子育てへの不安の解消	「子育て環	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)		16.0		
心 口 牧师		• 7	- 子育て親子の交流等を促進しながら、子育て支援機	「学校教育の	○質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)		12.4		
	事業内容	能の	充実を図るため、駅周辺に子育てひろばを整備す									
		る。								_		

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		事業の評価
	市内6か所(楽習館子育てひろば・駅前出張子育てひろ		1	H29年度の活動の実施状況の評価
Н27	ば・やわた子育てひろば・はちじょう子育てひろば・ゆまにて子育てひろば・子育てサロン)で子育てひろばを	11,632		A: 概ねできた(80%以上) B: あまりできなかった(80%未満) C: 活動できなかった
1121	開催し、子育で親子の交流の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施した。	11, 002	理由	市内 6 か所の子育てひろばにおいて、子育て相談 (380件)、身体測定 (1,916人)、栄養相談 (56件)、各種講習会 (3,658人) を実施し
	市内6か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を			た。
H28	提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施した。子育 てサロンの開催日時を拡充してだいばら子育てひろばとして開	24, 520	2	H29年度のKPI達成度
1120	催した。10月3日からやしお子育てほっとステーション内に	21,020		A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)
	駅前子育てひろばを開催した。		IH	やしお子育てほっとステーションにおいて、NPO法人による民間の
	市内6か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施した。八潮駅周辺におけ		理由	ノウハウや柔軟な発想などの運営方式により大幅に利用者が増加し た。
H29	る需要が多いため、八潮駅周辺において保育所併設型の子育てひろば などの新規開設について検討した。また、直営のひろばについては、	29, 761	3	成果向上のための課題と対応策
	NPO法人などへの委託方式を検討した。			直営の子育てひろばについて民間事業者へ委託し、民間の柔軟な発想や運営ノ
	市内6か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を		林田田	ウハウなどから更なるサービスの充実を図る必要がある。
H3U	提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施する。また、平成30年4月1日から八潮駅周辺のみつもり保育園内に「お	38, 329	ACE.	開催時間の延長を検討する必要がある。
1150	おぜのもり子育てひろば」を新設する。更に、はちじょう・ゆ	30, 329	対	やしお子育て応援ナビを活用した周知を行う。
	まにて子育てひろばについて、NPO法人へ業務委託をする。			直営のひろばについては、NPO法人などへの委託方式を検討する。
	市内7か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流			また、近隣市のひろばの開催状況の調査をする必要がある。
H31	の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実	38, 329		:現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了
1101	施する。また、直営のひろばについては、NPO法人な	50, 525		方向性 ● :見直して継続 :他事業と統合して継続
	どへの委託方式を検討する。			□ 重点化(拡充) ■ 手段を改善 効率・簡素化 C その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
子育てひろば利用者数(年間)	Y	26,000	計画	36, 000	48,000	48, 000	48, 000	48,000
	人	36, 000	実績	29, 676	45,004	49, 102		

事務事業名	2 利用者支援	後事 第		部	子育て福祉部		課	子育て支持	爰課			
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせる	るまち~								
松口計四	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひと)	り親家庭福祉)								
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標								
	基本的方向 1 子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実			指標名	単位	現状値	(H27)	目標値(H31)				
総合戦略	具体的な施策	1	交流の場づくりによる子育てへの不安の解消	「子育て環	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(I	H25年度)	16.0			
心口料心		• 7	·育てに関する情報提供や子育て支援を円滑に利用	- 育て支援を円滑に利用 「学校教育の		%	6.2(I	H25年度)	12.4			
		できるよう、子育てコーディネーターを子育てひろばなどに配置する。										

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		事業の評価
1197	八潮駅周辺の地域子育て支援拠点(子育てひろば)において教育・保育施設や子育て支援の事業等の情報集約と情報提供を行うとともに、保護者からのそれらの利用にあたっての相談に応	0	1	H29年度の活動の実施状況の評価A: 概ねできた(80%以上) B: あまりできなかった(80%未満) C: 活動できなかった
П21	じ、必要な情報提供等を行う「利用者支援事業」をNPO法人などに業務委託することを検討した。	U	理由	やしお子育でほっとステーションにおいて「利用者支援事業」をNPO法人の業務委託により事業を実施した。また、平成29年7月3日からやしお子育で応
H28	・「やしお子育てほっとステーション」内において「利用者支援事業」を実施した。 ・妊娠・出産・子育てに関する各種行政サービスを、利用者の視点に	3, 216	2	サビを民間事業者からの賃貸借により運用を開始した。
1120	立ち「分かりやすく」、「探しやすい」メニュー構造のWebサイト 及びアプリシステムを民間事業者からの賃貸借による運用を検討し た。	0, 210		A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満 やしお子育てほっとステーションにおいて「利用者支援事業」をNP
	・「やしお子育てほっとステーション」内において「利用者支援事業」を実施した。 ・平成29年7月3日からやしお子育て応援ナビを民間事業者からの賃貸	5.500	生由	O法人の業務委託により事業を実施し、計画した相談件数を大幅に上回ったため。
H29	借により運用を開始した。 ・応援サイトに掲載する企業等の広告募集を行い、広告収入により事業費の軽減を図ることを検討した。	7, 596	3	
	「やしお子育てほっとステーション」内において「利用者支援事業」を実施する。		課題	事業周知の徹底と関係課との連携が必要である。
H30	・やしお子育で応援ナビを民間事業者からの賃貸借により運用する。 ・応援サイトに掲載する企業等の広告募集を行い、広告収入により事 業費の軽減を図ることを検討する。	7, 984	対応	- 寺による周知に加え、乳児豕庭至尸訪問などにおいてもナフンで
H31	・「やしお子育てほっとステーション」内において「利用者支援事業」を実施する。・やしお子育て応援ナビを民間事業者からの賃貸借により運用する。	7, 984		配布するなど、関係課と連携し事業周知を図る。● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了
1101	・応援サイトに掲載する企業等の広告募集を行い、広告収入により事業費の軽減を図ることを検討する。	1, 504		方向性 : 見直して継続 : 他事業と統合して継続 □→ ■ 重点化(拡充) ■ 手段を改善 数率・簡素化 ■ その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
子育てコーディネーター相談件数	仕		計画	-	200	200	200	200
(年間)	17		実績	0	555	837		

事務事業名	3 ホームスク	7—	ト事業	部	子育て福祉部		課	子育て支持	爰課				
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせる	るまち~									
松口計画	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひとり	り親家庭福祉)									
	基本目標 3 保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり				数値目標								
	基本的方向 1 子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の		子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状個	直(H27)	目標値(H31)				
総合戦略	具体的な施策	1	交流の場づくりによる子育てへの不安の解消	「子育て環	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)	16. 0				
心口料心		・親の心の安定と子育て意欲の向上を図るため、在写		「学校教育の	つ質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)	12. 4				
		子育	「てをしている家庭などに専門のスタッフによる訪										
		问を	·実施する。										

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価
110	八潮駅周辺の地域子育て支援拠点(子育てひろば)において親の心の安定と子育て意欲の向上を図るため、在宅	0	① H29年度の活動の実施状況の評価● A: 概ねできた(80%以上) B: あまりできなかった(80%未満) C: 活動できなかった
H2	7 子育てをしている家庭などに専門のスタッフによる訪問 を実施する「ホームスタート事業」をNPO法人などに 業務委託することを検討した。	0	理 NPO法人との業務委託により「やしお子育てほっとステーション」 内にホームスタートの拠点を設置し、在宅子育てをしている家庭など に専門のスタッフによる訪問を実施した。
Н2	NPO法人との業務委託により「やしお子育てほっとステーション」内にホームスタートの拠点を設置し、親の心の安定と 子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭など	1, 911	 (こ等所)のクタックによる訪问を実施した。 (2) H29年度のKPI達成度 A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) © C:達成できなかった(80%未)
	に専門のスタッフによる訪問を実施した。		理 訪問した家庭の件数は20件、延べ訪問回数は44回であり、目標達
Н2	NPO法人との業務委託により「やしお子育てほっとステーション」内にホームスタートの拠点を設置し、親の心の安定と 子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭など	2, 048	由 成できなかったため。 3 成果向上のための課題と対応策
	に専門のスタッフによる訪問を実施した。		
Н3	NPO法人との業務委託により「やしお子育でほっとステーション」内にホームスタートの拠点を設置し、親の心の安定と	2, 049	課 事業周知の徹底と関係課との連携が必要である。
	子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭など に専門のスタッフによる訪問を実施する。	, ==	市のホームページ、やしお840メール配信、子育て応援サイ等による周知に加え、乳児家庭全戸訪問などにおいてもチラシャ
НЗ	NPO法人との業務委託により「やしお子育てほっとステーション」内にホームスタートの拠点を設置し、親の心の安定と	2, 049	配布するなど、関係課と連携し事業周知を図る。● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了
110	1 子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭など に専門のスタッフによる訪問を実施する。	2, 010	方向性 : 見直して継続 : 他事業と統合して継続 : 他事業と統合して継続 : 一⇒ ■ 重点化(拡充) ■ 手段を改善 ■ 効率・簡素化 ■ その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
ホームスタート利用者数(年間)	,	_	計画	-	30	60	60	60
ホームスタート利用者数 (年間)		_	実績	0	16	44		

事務事業名	4 子育て環境	育て環境改善事業【先行型事業】			子育て福祉部		課	保育課				
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせる	-るまち~								
松口計画	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひとり	この子どもの幸せづくり (児童福祉・ひとり親家庭福祉)								
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標								
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状値	恒 (H27)	目標値	(H31)		
総合戦略	具体的な施策	2	親の子育てにおける負担の軽減	「子育て環:	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)		16.0		
小心 口 光四		・多	5子世帯における経済的負担の軽減を図るため、保	「学校教育の	つ質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)		12.4		
	事業内容	育所等に入所する第3子以降の児童(満3歳未満)の										
	保育料を助成する。											

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		事業の評価
Н2	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保育料の免除 保育料免除額:6,668,100円 7 県補助金:3,334千円(補助率1/2)	0	1	H29年度の活動の実施状況の評価A:概ねできた(80%以上)B:あまりできなかった(80%未満)C:活動できなかった
ΠΔ	7 条備切金・3,304 F	0	理由	目標値「40人」に対し、実績が「56人」であった為、該当する多子世帯の保育所等利用における経済的負担の軽減を図ることができ
Н2	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保 育料の免除	0	2	^{た。} H29年度のKPI達成度
	保育料免除額:11,059千円 県補助金:5,529千円(補助率1/2)			A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満 目標値「40人」に対し、実績が「56人」であった為、該当する多
Н2	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保 育料の免除	0	理由	子世帯の保育所等利用における経済的負担の軽減を図ることができた。
ΠΔ	保育料免除額:12,486千円 県補助金:6,243千円(補助率1/2)		3	
	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保 育料の免除			
Н3	0 保育料免除額:13,193千円 県補助金:6,596千円(補助率1/2)	0	対応	保育所入所選考基準において、多子世帯における子どもの保育所等の優先利用の規定を設けることで、多子世帯の保育利用の増加
НЗ	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保 育料の免除	0		や、利用者負担の軽減の拡大につながるものと考えられる。● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了
113	保育料免除額:13,193千円 県補助金:6,596千円(補助率1/2)	O O		方向性 : 見直して継続 : 他事業と統合して継続

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
補助対象世帯数(年間)	世帯	21	計画	40	40	40	40	40
冊切刈家世帝数 (平间)	世市	31	実績	35	56	56		

事務事業名	5 放課後児童	〔健:	全育成施設整備事業	部	子育て福祉部		課	子育て支持	爰課			
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせる	福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせるまち~								
松口可凹	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひと)	り親家庭福	ā 社)							
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標								
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状個	恒 (H27)	目標値(H31	1)		
総合戦略	具体的な施策	2	親の子育てにおける負担の軽減	「子育て環	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)	16	6.0		
心口积值		• 7	- 育て支援環境を充実するため、駅周辺に学童保育	「学校教育の	つ質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)	12	2.4		
		所を	:整備し、併せて駅周辺の学童保育所の開所時間を									
		延 長	延長する。									

			_	
	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		
H27	八潮駅周辺の住宅整備の進捗に伴い、入所児童数が増加しており、学 童保育所の待機児童が発生することが想定されることから、八潮市子 ども・子育て支援事業計画に基づき、駅周辺において入所児童の安 全・安心を確保できる送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供 が可能な社会福祉法人等の民間活力の導入及び新たな民間学童保育所 の整備について検討した。	0		H29年度の活動の実施状況 A:概ねできた(80%以上) B 八潮駅周辺においてNPO注 所の整備を行った。また、力 人による民間活力を導入して
H28	八潮駅周辺に、送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供が可能な社会福祉法 人等の民間活力の導入及び学校敷地外に新規の学童保育所(定員60名)の整備を検 討した。また、大曽根小学校の児童数増加に伴い、学童保育所として使用していた 教室を普通教室に戻す必要があるため、送迎サービスなどを行う新たな学童保育の 提供が可能な社会福祉法人等の民間活力の導入及び学校敷地外に新規の学童保育所 (定員80名)の整備を検討した。	0	2	移設を行った。 H29年度のKPI達成度 A:達成した(100%) B
	八潮駅周辺における子育て家庭の増加に伴い、NPO法人による民間活力を導入し、新たな民間学童保育所の整備を行った。また、大曽根小学校においては、児童数の増加に伴い普通教室が不足していることから、学校敷地外に社会福祉法人による民間活力を導入して民間学童保育所を整備し、おおそね学童保育所の移設を行った。	47, 100	理由 3	学童保育所利用者数が計成果向上のための課題と 経年劣化している学童保育所
H3() I	経年劣化しているひまわり学童保育所、どんぐり学童保育所及びはちじょうきた学童保育所の移設整備の方策を検討する。また、指定管理者制度を導入した運営方式から補助方式への移行についても併せて検討する。さらに、八潮駅を中心に児童数が増加しており、小学校の普通教室が不足し、空き教室を活用していた学童保育所を学校敷地外に移設する必要がある。	0	課題 対応	八潮駅を中心に児童数が増加を活用していた学童保育所を 学校敷地内への移設や新設が 校敷地外に施設を整備し、プ
Н31	経年劣化しているひまわり学童保育所、どんぐり学童保育所及びはちじょうきた学童保育所の移設整備の方策を検討する。また、指定管理者制度を導入した運営方式から補助方式への移行についても併せて検討する。さらに、八潮駅を中心に児童数が増加しており、小学校の普通教室が不足し、空き教室を活用していた学童保育所を学校敷地外に移設する必要がある。	0		を行う新たな学童保育の提供

事業の評価

- 況の評価
- C:活動できなかった B:あまりできなかった(80%未満)

法人による民間活力を導入し、新たな民間学童保育 大曽根小学校においては、学校敷地外に社会福祉法 て民間学童保育所を整備し、おおそね学童保育所の

B:概ね達成できた(80%以上)

C:達成できなかった(80%未満)

・画値を上回ったため。

対応策

所の移設整備の方策を検討する必要がある。 加しており、小学校の普通教室が不足し、空き教室 で学校敷地外に移設する必要がある。

お困難な場合においては、社会福祉法人等により学 入所児童の安全・安心を確保する送迎サービスなど 供や補助方式による運営等を検討する。

ま継続 :休止•廃止 :終了•完了 継続 :他事業と統合して継続 (拡充) その他 手段を改善効率・簡素化

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
学童保育所利用者数 (年間)	٨	5, 300	計画	5, 500	5, 500	5, 500	5, 500	5, 500
子里休月別利用有数(中间)	入	5, 500	実績	5, 403	5, 478	5, 517		

事務事業名	6 学童保育原	斤管3	理運営事業	部	子育て福祉部		課	保育課				
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせる	康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせるまち~								
松口計画	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひとり	の子どもの幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)								
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標								
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状値	恒 (H27)	目標値	(H31)		
総合戦略	具体的な施策	2	親の子育てにおける負担の軽減	「子育て環:	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)		16.0		
小心 口 光四		• 7	・ 一育て支援環境を充実するため、駅周辺に学童保育	「学校教育の	の質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)		12. 4		
		所を	:整備し、併せて駅周辺の学童保育所の開所時間を									
	延長する。											

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	
H27	八潮駅周辺の学童保育所における保育時間について、現 在の午後6時30分までの開所時間の延長についての調査 研究を行った。	0	
Н28	八潮駅周辺の学童保育所における保育時間について、現在の午後6時30分までの開所時間の延長についての調査研究を行った。	0	
Н29	おおぜ学童保育所の公設民営(指定管理者制度)での運営を開始し、学童保育所における開所時間を延長した。 開所時間:午後6時30分→午後7時30分に繰り下げ	25, 678	
Н30	おおぜ学童保育所、おおそね学童保育所の代替施設(けやき学童クラブ)・八潮駅周辺の新規施設(ちくみキッズクラブ)において、開所時間を延長して民設民営学童保育所を運営する。	107, 002	
Н31	おおぜ学童保育所(公設民営)、けやき学童クラブ(民 設民営)、ちくみキッズクラブ(民設民営)において、 開所時間を延長して学童保育所を運営する。	107, 002	

_									
			事第	美の評価					
1	H29年度0	の活動の実	施状況の評値	五					
	A:概ねでき	た(80%以上)	B:あまりでき	きなかった(80%未満)	C:活動	できなかった			
理由									
2	H29年度 <i>0</i>	DKPI達	成度						
	A:達成し <i>†</i>	- (100%)	B:概ね達	成できた(80%以上)	C:達成で	きなかった(80%未満)			
理由	八潮駅周辺における保育需要の増加により、学童保育所利用者数が成 果指標の目標を上回ることができた。								
3	成果向上	のための誤	関と対応策						
課題	スほか	長時間保育		に伴い、利用! ーズなど、新7					
対応	新たな学童保育所の整備や開所時間の延長について民間活力を導入することで、保育需要の増大や新たな保育ニーズに対応できる ものと考えている。								
		:現状	のまま継続	:休止•廃.	止 : 終	了·完了			
	方向性	● :見直	して継続	:他事業と	統合して継続	売			
		→■重	点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素	長化 その他			

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
学童保育所利用者数 (年間)	Į.	5, 300	計画	5, 500	5, 500	5, 500	5, 500	5, 500
子里休月別利用有数 (中间)	人	5, 500	実績	5, 403	5, 478	5, 517		

事務事業名	7 事業所内傷	よ育 🎚	事業	部	子育て福祉部		課	子育て支持	爰課		
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせる	福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせるまち~							
松口引四	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひとり	ā祉)							
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標							
	基本的方向		子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状個	恒 (H27)	目標値(H31)		
総合戦略	具体的な施策	2	親の子育てにおける負担の軽減	「子育て環	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)	16.	0	
心口牛人門		• 7	- 子育て支援環境を充実するため、女性社員が多く働	「学校教育の	つ質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)	12.	4	
	事業内容	く企	主業等に働きかけ、事業所内保育(認可外)の整備								
		を切	と促進する。								

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価
H27	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付 している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及 び公益財団法人児童育成協会で助成している「企業主導 型保育事業」の助成制度の周知を検討した。	0	① H29年度の活動の実施状況の評価 ● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった 中 内閣府、埼玉県及び公益財団法人児童育成協会等から情報を収集し、「事業所内保育事業」の整備補助金や「企業主導型保育事業」の助成
H28	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及び公益財団法人児童育成協会で助成している「企業主導型保育事業」の制度について市のホームページやチラシ等で周知した。	0	
Н29	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及び公益財団法人児童育成協会で助成している「企業主導型保育事業」の制度について市のホームページやチラシ等で周知した。	0	29年度以降の待機児童解消に向けて、企業主導型保育事業等の情報を収集し、事業周知を行った。 ③ 成果向上のための課題と対応策
Н30	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及び公益財団法人児童育成協会で助成している「企業主導型保育事業」の制度について市のホームページやチラシ等で周知する。	0	課題 事業周知の徹底 対 関係課等と連携し、広く企業に周知をしていく必要がある。
Н31	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及び公益財団法人児童育成協会で助成している「企業主導型保育事業」の制度について市のホームページやチラシ等で周知する。	0	****

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
待機児童数(年間)	,	າາ	計画	0	0	0	0	0
付傚允里奴(中间)	八	33	実績	33	0	16		

事務事業名	8 小規模保育	事	業	部	子育て福祉部		課	子育て支持	爰課		
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせる	るまち~							
松口可凹	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひと								
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標							
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状値	恒 (H27)	目標値(H3	31)	
総合戦略	具体的な施策	2	親の子育てにおける負担の軽減	「子育て環:	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)	1	16. 0	
心 口 拟叶			- 育て支援環境を充実するため、駅周辺のマンショ	「学校教育の	つ質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)	1	12.4	
	事業内容	ンの)整備に併せて、1階部分に小規模保育施設(認可								
		グト)	の設置を促進する。								

事業の実施状況(見込み)	事業費(千円)	Ī	事業の評価
新制度における待機児童対策として、新設の小規模保育施設4か所(みひ		(1	① H29年度の活動の実施状況の評価
ありい保育園八潮駅南口園:定員15名・ふぇありい保育園八潮中央園:	0		● A: 概ねできた(80%以上)B: あまりできなかった(80%未満)C: 活動できなかった
定員14名)を整備した。また、家庭保育室2か所(もりまさ保育園:定員18名・おひさま保育園:定員12名)について保育需要の高い八潮駅周辺に移設し小規模保育施設に移行した。	U		理 待機児童対策として、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小 由 規模施設の整備について検討した。
平成27年度の入所児童数や乳幼児の人口、居住環境の		9	 ② H29年度のKPI達成度
	0	٧	A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) ● C: 達成できなかった(80%未満)
基づき小規模保育施設の整備を検討した。			
		Ŧ	理 平成29年4月1日時点における待機児童は16人であったが、八潮市子ど も・子育て支援事業計画の変更により小規模保育施設整備は行わず、認可保育
平成28年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化		E	由 「 お・ナーで 文法 手系 に 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力
	0	6	
		9	③ 成果向上のための課題と対応策
1-0		Ī	課してはたいのからないとう
平成29年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化		是	連携施設の設定を進める必要がある。
	0		
		7	対民間認可保育所の園長会議等において、協力を求めていく必要があ
1 × 0		Į,	が る。また、今後、認可保育所等を整備する場合においては、2歳児と 3歳児の定員枠に差をつける必要がある。
平成30年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化			
や女性就業率の増加等を勘案し、八潮市子ども・子育て	0		● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了
文援事業計画に基つさ小規模保育施設の整備を検討す	Ů		方向性:見直して継続:他事業と統合して継続
ు			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
3	新制度における待機児童対策として、新設の小規模保育施設4か所(みひかり保育園:定員13名・しおどめ保育園小規模認可:定員15名・ふえありい保育園八潮中央園:定員14名)を整備した。また、家庭保育室2か所(もりまさ保育園:定員18名・おひさま保育園:定員12名)について保育需要の高い八潮駅周辺に移設し小規模保育施設に移行した。 平成27年度の入所児童数や乳幼児の人口、居住環境の変化等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討した。 平成28年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化や女性就業率の増加等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討した。 平成29年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化や女性就業率の増加等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。 平成30年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化で支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。	新制度における待機児童対策として、新設の小規模保育施設4か所(みひかり保育園:定員13名・しおどめ保育園小規模認可:定員15名・ふえありい保育園/潮駅南口園:定員15名・ふえありい保育園/潮中央園:定員14名)を整備した。また、家庭保育室2か所(もりまさ保育園:定員18名・おひさま保育園:定員12名)について保育需要の高い八潮駅周辺に移設し小規模保育施設に移行した。 平成27年度の入所児童数や乳幼児の人口、居住環境の変化等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討した。 平成28年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化や女性就業率の増加等を勘案し、八潮市子ども・子育で支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討した。 平成29年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化や女性就業率の増加等を勘案し、八潮市子ども・子育で支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。 平成30年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化や女性就業率の増加等を勘案し、八潮市子ども・子育で支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。	新制度における待機児童対策として、新設の小規模保育施設4か所(みひかり保育園:定員13名・しおどめ保育園小規模認可:定員15名・ふえありい保育園八潮中央園:定員14名)を整備した。また、家庭保育室2か所(もりまさ保育園:定員18名・おひさま保育園:定員12名)について保育需要の高い八潮駅周辺に移設し小規模保育施設に移行した。 平成27年度の入所児童数や乳幼児の人口、居住環境の変化等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討した。 平成28年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化や女性就業率の増加等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討した。 平成29年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化や女性就業率の増加等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。 平成30年度の入所児童数や人口動態、居住環境の変化や女性就業率の増加等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
待機児童数(年間)	,	22	計画	0	0	0	0	0
付傚汽里奴(中间)	八	33	実績	33	0	16		

事務事業名	9 子育て環境	急改計	善事業【先行型事業】	部	子育て福祉部		課	子育て支持	爱課			
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て~誰もがいきいきと暮らせる	A祉・子育て〜誰もがいきいきと暮らせるまち〜 ア子どもの幸せづくり (児童福祉・ひとり親家庭福祉)								
松口可凹	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり(児童福祉・ひとり									
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標								
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状値	恒 (H27)	目標値(H31)			
総合戦略	具体的な施策	3	子どもと一緒に外出しやすい環境の充実	「子育て環	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)	16. 0			
心 口 朱人心口			育て親子が安全に、安心して外出できる環境を整備するため、地 育て支援事業等を実施する施設におむつ交換などを設置し、更な	「学校教育の	つ質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)	12. 4			
	事業内容	る利	用く又版サポティと大地りる地版にわけって決場などを収慮し、火な 用者の増加を図る。また、屋外における市民まつりなどで実施さ いる子育で世帯を対象としたイベント等に「移動式あかちゃんの									
			として、簡易テントやおむつ交換ベッド等を貸し出す。			·						

	事業の実施状況(見込み)	事業費	(千円)
Н27	地域子育で支援拠点の実施施設等6施設に16台のおむつ交換台を設置した。地域子育で支援拠点の実施施設等5施設に22台のベビーチェアを設置した。保健センター他4施設に授乳スペースを確保した。移動式あかちゃんの駅(簡易テント・授乳用椅子・おむつ交換ベット)を2セット購入し、やしお市民まつりで設置したところ、24組48名の利用があった。ベビーカーマークやチラシ等を作成し、ベビーカーの安全な利用や理解の周知を図った。		6, 104
Н28	地域子育て支援事業等を実施する施設におむつ交換などを 設置し、更なる利用者の増加を図った。また、屋外におけ る市民まつりなどで実施されている子育て世帯を対象とし たイベント等に「移動式あかちゃんの駅」として、簡易テ ントやおむつ交換ベッド等を貸し出しを行った。		1, 038
Н29	地域子育て支援事業等を実施する施設におむつ交換などを設置し、更なる利用者の増加を図った。また、屋外における市民まつりなどで実施されている子育て世帯を対象としたイベント等に「移動式あかちゃんの駅」として、簡易テントやおむつ交換ベッド等を貸し出した。既に設置したおむつ交換台等の安全な利用を図るため保守点検等の実施を検討した。		1, 407
Н30	屋外における市民まつりなどで実施されている子育て世帯を対象としたイベント等に「移動式あかちゃんの駅」として、簡易テントやおむつ交換ベッド等を貸し出しする。また、既に設置したおむつ交換台等の安全な利用を図るため保守点検等を実施する。		169
Н31	屋外における市民まつりなどで実施されている子育て世帯を対象としたイベント等に「移動式あかちゃんの駅」として、簡易テントやおむつ交換ベッド等を貸し出しする。また、既に設置したおむつ交換台等の安全な利用を図るため保守点検等を実施する。		169

			1	事業の記	平価						
1	H29年度の)活動の実	施状況の	評価							
•	A:概ねでき	た(80%以上)	B:あま	Jできなか [.]	った(80%未満)		C:汩	5動できな	なかった		
理由	市内公共が 移動式あっ								った。		
2	H29年度の	KPI達	成度								
	A:達成した	(100%)	B:概a	達成でき	た(80%以上)		C:達/	成できなか	った(80%未満)		
理由	利用者数が計画値を上回ったため。										
3	成果向上	のための訳	果題と対応	策							
課題	おむつ交打 がある。	奥台や授乳	」スペース	等の設	置場所を	市民	に広	く周知っ	する必要		
対応	やしお子育て応援ナビを活用した周知方法について検討する。										
		● :現状	のまま継糸	売	:休止•廃.	止		:終了•5	完了		
	方向性	:見直	して継続		:他事業と	統合	して	継続			
			点化(拡3	图 手	段を改善	刻	」率•1	簡素化	その他		

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
地域子育て支援拠点利用者数(年間)	Y	26,000	計画	36, 000	48, 000	48, 000	48, 000	48,000
	人	36, 000	実績	29, 676	45, 004	49, 102		

事務事業名	10 教育指導控	推進	事業	部	学校教育部		課	指導課			
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ〜学びとつながりをプ	大切にする	まち~						
松口計画	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)								
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標							
	基本的方向 2 教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の				指標名	単位	現状個	恒 (H27)	目標値	(H31)	
総合戦略	具体的な施策	1	きめ細やかな学習指導による学力の向上	「子育て環:	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)		16.0	
心 口 我们		• 児	登童生徒の一人ひとりの学力を伸ばすため、個々の	「学校教育の	つ質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)		12. 4	
		学力	」の実態を把握し、その状況に応じた課題に取り組								
		める	らよう指導する。 					·		·	

	事業の実施状況(見込み)	事業費(千円)	事美
	W 757 H) >44 (6)) W 757 (6) 45 (7) 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		1 H29年度の活動の実施状況の評値● A: 概ねできた(80%以上)B: あまりできた(80%以上)
127	学習型と連携した学習指導に関する調査研究を行った。	0	理 学習塾との連携事業を実施すること きめ細やかな指導につなげることが 習に対する意欲が高まったと評価が
198	市内小学校5年生の児童178人が、学習塾講師による 国語・算数の学習指導を年間8回、1月~3月の土曜日	3 240	② H29年度のKPI達成度
120	に実施した。 1 クラスあたり 1 5 ~ 2 0 人程度の習熟度 別クラスを編成し、会場は市の公共施設を利用した。	0, 243	A:達成した(100%) ● B:概ね達 学習塾との連携事業で、家庭学
I29	市内小学校5年生の児童165人を対象に、学習塾講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月~3月に実施した。1クラスあたり10人程度の習熟度別クラス	4, 939	理由 行うことができたが、対象学年対しては、達成できなかった。
	を編成し、会場は八潮中学校を利用した。		学習塾との連携については、平成2 課 全国学力・学習状況調査における名
I30	講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月~3	4, 939	題 ばいであり、引き続き課題である。 ついて、今後も引き続き検討してい
	ラスを編成し、会場は学校を含む市の公共施設を利用す る。	,	事業実施の成果と課題を検証し、第 対 クラス編成、学習内容等を必要に応 応 学校における日々の授業についても
10.1	市内小学校5年生の児童200人を対象として、学習塾講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月~3日にはなり、1月~3日にはなり、1月1日により、1月1日日によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	5 001	づくりを図るための指導・助言を行 : 現状のまま継続
131	ラスを編成し、会場は学校を含む市の公共施設を利用す	5, 031	方向性 ● :見直して継続 → ■重点化(拡充)
I	228	28 国語・算数の学習指導を年間8回、1月~3月の土曜日に実施した。1クラスあたり15~20人程度の習熟度別クラスを編成し、会場は市の公共施設を利用した。 19 市内小学校5年生の児童165人を対象に、学習塾講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月~3月に実施した。1クラスあたり10人程度の習熟度別クラスを編成し、会場は八潮中学校を利用した。 10 市内小学校5年生の児童200人を対象として、学習塾講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月~3月に実施する。1クラスあたり10人程度の習熟度別クラスを編成し、会場は学校を含む市の公共施設を利用する。 10 市内小学校5年生の児童200人を対象として、学習塾講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月~3月に実施する。1クラスあたり10人程度の習熟度別ク	市内小学校 5 年生の児童 1 7 8 人が、学習塾講師による 国語・算数の学習指導を年間 8 回、1 月~3 月の土曜日 に実施した。1 クラスあたり 1 5~2 0 人程度の習熟度 別クラスを編成し、会場は市の公共施設を利用した。

業の評価

C:活動できなかった きなかった(80%未満)

とができた。165名が参加し、一人ひとりに ができた。参加した児童や保護者からは、学 が高かった。

【成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)

全習への意欲を高め、つまづきの確認を Eがひと学年のみであり、KPI数値に

28年度からの実施となる。平成28年度の 全国平均との差は、平成27年度からほぼ横 事業の実施規模や実施時期、対象学年等に いく必要がある。

実施規模や実施時期、実施回数、対象学年、 応じて工夫改善をする。事業実施とともに、 も見直し、教師の授業力向上、魅力ある授業 行う。

:休止•廃止 :終了•完了 :他事業と統合して継続 手段を改善対率・簡素化 その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
全国学力学習状況調査平均正答率	ポイント	-5	計画	-5	-4	-3	-2	-1
(全国平均との差) (累計)	W 1 \ \ \ \	-5	実績	小-4.0 中-6.4	小-4.6 中-6.6	小-1.4中-6.1		

事務事業名	11 小中一貫教	效育排	推進事業	部	学校教育部		課小中一貫	教育推進室	
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ〜学びとつながりをプ	大切にする	まち~				
松口計画	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)						
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標					
	基本的方向	2	教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の実現		指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)	
総合戦略	具体的な施策	_	きめ細やかな学習指導による学力の向上	「子育て環	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)	16.0	
花 口 料 哈			、中学校間の垣根を越え、基礎基本の定着や自ら学ぶ ・育成などの「学力の向上」を図るため、学力に関す	「学校教育の	○質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)	12.4	
	事業内容	る課	題を共有し、その解決に向け、9年間を見通して計						
		画的る。	Jかつ継続的な取り組みを行う小中一貫教育を推進す						

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)
Н27	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続するとともに、「八潮Basic I・II」の配付、「生活・学習ガイド」の配付、小学校3校・中学校1校に学力向上指導員を配置し、9年間を見通したきめ細やかな指導を行った。また、教員の授業力向上のために、秋田県小坂町への派遣研修を行った。大原中学校ブロックにおいて研究発表会を開催した。	9, 807
H28	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続するとともに、「八潮Basic I・II」の配付、「生活・学習ガイド」の配付、小学校4校に学力向上指導員を配置し、9年間を見通したきめ細やかな指導を行った。また、教員の授業力向上のために、秋田県小坂町への派遣研修を行った。全校で「八潮スタンダード」を試行的に活用した。八幡中学校ブロックにおいて研究発表会を開催した。	9, 823
H29	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続するとともに、「八潮Basic I・II」の配付、「生活・学習ガイド」の配付を継続する。また、教員の授業力向上のために、秋田県小坂町への派遣研修も継続する。「八潮スタンダード」を全面実施とし、児童生徒の一層の学力向上を図った。八條中学校ブロックにおいて研究発表会を開催した。	6, 391
Н30	全校を対象とした小中一貫教育の第四次研究指定を行う。「八潮スタンダード」を活用した授業実践の徹底を図る。また「八潮Basic I・II」の配付、「生活・学習ガイド」の配付を終了し、データ管理とする。研究発表会は開催しない。	2, 826
Н31	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続する。また、「八潮スタンダード」を活用した授業実践の徹底を図る。市内の八潮中学校ブロックにおいて研究発表会を開催する。	2, 870

事業の評価

① H29年度の活動の実施状況の評価

● A: 概ねできた(80%以上)B:あまりできなかった(80%未満)C:活動できなかった

② H29年度のKPI達成度

A: 達成した(100%) ■ B: 概ね達成できた(80%以上)

C:達成できなかった(80%未満)

理 小学校においては目標値を達成することができたものの、中学校において目標値を達成することができなかった。しかしながら、目標値との差は確実に縮まっている。

③ 成果向上のための課題と対応策

小学校では授業改善が進み、全国学力学習状況調査においても大きな 伸びが見られる。一方、中学校においては、「対話的で、主体的な、 深い学び」となる授業への改善が課題である。

「八潮スタンダード」の更なる定着を図るために、小坂町派遣教職員 等による授業実践を広め、授業改善を推し進めることで、児童生徒の 学力向上を図っていく。

: 現状のまま継続 : 休止・廃止 : 終了・完了 : 見直して継続 : 他事業と統合して継続 : 世事業と統合して継続 : 大の他 : を改善 : をひき :

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
全国学力学習状況調査平均正答率	ポイント	- L	計画	-5	-4	-3	-2	-1
(全国平均との差)(累計)	ルイント	-5	実績	小-4.0 中-6.4	小-4.6 中-6.6			

事務事業名	12 地域人材活	5用	推進事業	部	学校教育部		課	指導課				
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ〜学びとつながりをプ	『文化・コミュニティ~学びとつながりを大切にするまち~								
松口計画	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)	を担う人づくり(幼児教育・学校教育)								
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標								
	基本的方向	2	教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の実現		指標名	単位	現状個	恒 (H27)	目標値	(H31)		
総合戦略	具体的な施策	2	多様な学習機会の提供による学習意欲の向上	「子育て環	竟」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)		16.0		
心口料心	事業内容	• 児	・児童生徒の学習意欲を高めるため、保護者、地域の方等を活用し、土曜勉強会(ジョイスタ)の質的拡充		○質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)		12. 4		
		方等										
		を図						·				

			_	
	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		
Н27	補充的な学習を年間14回、特別授業を年間16回、入 試対策的な学習教室を年間9回実施した。補充的な学習 については、サマースクール、ウィンタースクールにも 地域人材を活用し、児童生徒の学習支援を実施した。一 人一人に応じた指導が行われた。	977	① 理 由	A:概ねできた(80%以上) 補充学習は、児童生 とに、学習意欲の高
Н28	補充的な学習を年間10回、特別授業を年間7回、補充的な学習(延べ33回)については、サマースクールにも地域人材を活用し、児童生徒の学習支援を実施した。一人ひとりに応じた指導が行われた。	534	2	盛に授業に参加し H29年度のKPI達 A:達成した(100%)
H29	対象学年・実施回数・時期・会場の見直しを行い、ジョイスタが参加者一人ひとりのニーズに合った学習教室になるよう工夫した。補充的な学習教室8回、特別授業7回、入試対策的な学習教室8回。	1, 110	理由 3	成果向上のための
Н30	対象学年・実施回数・時期・会場の見直しを行い、ジョイスタが参加者一人ひとりのニーズに合った学習教室になるよう工夫する。補充的な学習教室8回、特別授業7回、入試対策的な学習教室8回。	1, 068	課題 対応	施場所が、保護者の また、参加児童生徒の 実施回数や実施時期 対象学年を絞り、補
Н31	対象学年・実施回数・時期・会場の見直しを行い、ジョイスタが参加者一人ひとりのニーズに合った学習教室になるよう工夫する。補充的な学習教室8回、特別授業7回、入試対策的な学習教室8回。	1, 068	,,,,,	また、参加児童生徒(:現状 方向性 :見直 □ :見直

-				•	•		•				
Ī				事美	美の評価						
	1	H29年度0)活動の実	施状況の評値							
		A:概ねでき	た(80%以上)	B:あまりで	きなかった(80%未満)	C:	活動できれ	なかった			
	理 補充学習は、児童生徒のニーズに合わせたものであり、回を重ねるごとに、学習意欲の高まりがみられた。また、特別授業では、好奇心旺盛に授業に参加していた。										
	2	H29年度0	KPI達	成度							
	•	A:達成し <i>†</i>	= (100%)	B:概ね達	成できた(80%以上)	C:	達成できなかっ	った(80%未満)			
	田田	参加した児童生徒の学習に対する意欲を高めることができた。									
	3	成果向上	のための訳	果題と対応策							
	課題	施場所が、	保護者の要	要望に応じられ	会場とするためん いていない。 った個別の指導が						
	対応										
			:現状	のまま継続	:休止•廃	止	:終了•5	完了			
		方向性	● :見直	して継続	:他事業と	:統合し	て継続				
			<u></u> → <u></u> <u></u> <u></u> <u></u>	点化(拡充)	■手段を改善	効率	・簡素化	その他			

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
土曜勉強会参加者数(年間)	Į.	100	計画	110	120	130	140	150
工唯炮强云参加有效(中间)	人	100	実績	110	180	162		

事務事業名	13 教育指導控	推進	事業	部	学校教育部		課	指導課				
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ〜学びとつながりをプ	文化・コミュニティ〜学びとつながりを大切にするまち〜								
松口計画	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)	を担う人づくり(幼児教育・学校教育)								
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標								
	基本的方向	2	教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の実現		指標名	単位	現状個	恒 (H27)	目標値	(H31)		
総合戦略	具体的な施策	2	多様な学習機会の提供による学習意欲の向上	「子育て環	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)		16. 0		
心 口 我们		· 大	学と連携・協力し、様々な分野の内容を模擬体験	「学校教育の	○質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)		12. 4		
			受業や大学構内の施設見学等を通して、子どもたちの 「将来の夢や希望をはぐくみ」「知的好奇心を喚起									
		し」	「学ぶ意欲の向上」を図る。									

				_	
ĺ		事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		事業の評価
		八潮こども夢大学の参加募集対象を拡大し、小学校5年		1	The state of the s
		生~中学校1年生としⅠ期24名が、4大学で5回、Ⅱ #224第11月日の体験党羽も第	1,075		A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった
		期32名が、5大学で6回の合計11回の体験学習を受講し、八潮こども夢大学を修了した。		理由	募集対象を小学校5年生~中学生1年生までに拡充したことと2期制にしたため、多くの児童生徒が参加することができ、大学での貴重な体験学習をすることができた。
		 小学校5年生~中学校1年生に募集をし、I期19名		<u>2</u>	<u> </u>
	H28	が、4大学で4回、II期21名が、4大学で4回の合計 8回の体験学習を受講した。	944	_	H29年度のKPI達成度 B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満
					A: 建成した(100%) D: 似は達成できた(00%以上) 0. 達成できながった(00%不過
ŀ		小学校5年生~中学校1年生に募集をし、I期30名 が、4大学で4回、II期26名が、4大学で4回の合計		理由	募集対象を拡充して、多くの児童生徒が参加をすることができた。
			1, 082	<u>(3)</u>	プロウェッキ いっき いっき いっち いっち
		8回の体験学習を受講した。		3)	成果向上のための課題と対応策 T
ŀ					参加者の安定と内容の充実を図るために、参加条件及び対象学年を見
		 対象学年を検討し、I期・II期を合わせて35名がそれ		題	直すことが考えられる。
	H30	ぞれ4大学で4回の合計8回の体験学習を受講する。	1, 016		一度参加したことのある児童生徒は、対象外となっているが、参
				対応	カルターナフ (おか字がぶさく 帯上半のトンナヤ マンフィ
I				יטינ	め)ただし、初めて参加する児童生徒を優先とする。
	H31	対象学年を検討し、I期・II期を合わせて35名がそれ	1, 016		:現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了
		ぞれ4大学で4回の合計8回の体験学習を受講する。	1,010		方向性 ●:見直して継続:他事業と統合して継続
					□ □ □ □ □ 重点化(拡充) □ 手段を改善 効率・簡素化 □ その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
八潮こども夢大学参加者数(経年累積	٨	33	計画	60	95	130	165	200
人数)	八		実績	56	96	152		

事務事業名	14 家庭教育物	推	事業	部	教育総務部		課	社会教育記	果			
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ〜学びとつながりをプ	大切にする	Jにするまち~							
松口計四	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)	大を担う人づくり (幼児教育・学校教育)								
	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標								
	基本的方向	2	教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の実現		指標名	単位	現状値	恒 (H27)	目標値(H31)			
総合戦略	具体的な施策	3	命に関する教育の推進	「子育て環:	境」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)	16.0			
心口料心	事業内容	・将来、親になるための学習として、世の中にとって 自分自身が大切な存在だと思える気持ちを育み、命の 大切さを伝えるいのちの授業 (誕生学)を市内小中学 校において実施する。		「学校教育の	○質」の満足度(20~40代)	%	6.2(H25年度)	12.4			

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)
Н27	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を21回実施した。また、市内3校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を3回実施した。	1, 441
Н28	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を20回実施した。また、市内3校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を3回実施した。	1, 441
Н29	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を20回実施した。また、市内4校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を4回実施した。	1, 475
Н30	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を20回実施する。また、市内4校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を4回実施する。	1, 552
Н31	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を20回実施する。また、市内4校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を4回実施する。	1, 552

				•							
I				事第	美の評	価					
	1	H29年度0)活動の実	施状況の評値	西						
		A:概ねでき	た(80%以上)	B:あまりでき	きなかっ	た(80%未満)		C:⊼	舌動できれ	;;	かった
理 中学3年生、小学6年生及び保護者を対象とした本事業を計画どおり 実施できた。										どおり	
	2	H29年度0	KPI達	成度							
		A:達成し <i>†</i>	= (100%)	■ B:概ね達	成でき	た(80%以上)		C:達	成できなかっ	ot:	(80%未満)
	理 平成29年度は計画どおりに実施できた。ただし、平成28年度の実 績が合同で開催したため累積では、計画値を下回った。										
	3	成果向上	のための訳	課題と対応策							
	課題		心を育み、	連携、協力が 家庭教育の							
	対 学校及び家庭との連携、協力をさらに図り、事業の充実に努める。										
● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了										7	
		方向性	:見直	して継続		他事業と	統合	して	継続		
			<u> </u>	点化(拡充)	手	段を改善	交	」率・	簡素化		その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
いのちの授業(誕生学)実施回数(累	口	2.4	計画	24	48	72	96	120
計)	IJ	24	実績	24	47	71		

基本目標4

・自助・共助・公助の充実による安全・ 安心なコミュニティの形成

総合戦略 基本目標別総括評価シート(対象:H29年度実施事業)

基本目標 4 自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成

基本目標 の趣旨 地域の安全・安心を支える知識の普及や体制強化のための支援を行うとともに、地域における人と人とのつながりを強めることで、互いに支えあい学びあいながら安全・安心なまちづくりを進めることができるコミュニティを形成する。

				数値目標				
指標名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
町会・自治会等の地域活動への参加率	%		計画		35. 4		_	39. 6
叫云·日伯云寺(7)地域伯勒·(V)参加平	/0	(H25年度)	実績		20. 4		_	
交通事故発生件数	件	528	計画	510以下	510以下	510以下	510以下	510以下
文 世	17	(H26年)	実績	461.0	410.0	367. 0		
刑法犯認知件数	件	1, 271	計画	1,100以下	1,100以下	1,000以下	1,000以下	1,000以下
川仏児岭州十数	17	(H26年)	実績	951. 0	926. 0	922. 0		
			計画					
			実績					

	事業の状況													
事務事業名	活動評価	KPI名	達成度評価	方向性	備考									
1 地域防災力向上事業【先行型事業】		研修会・意見交換会実施回数	Α	現状のまま継続										
2 自主防災組織育成事業		自主防災組織結成率	Α	見直して継続(重点化(拡充))										
3 交通安全指導・教育事業		交通安全教室実施回数		現状のまま継続										
4 防犯活動普及事業		活動団体数		現状のまま継続										
5 防犯施設整備事業		防犯カメラ設置数		現状のまま継続										
6 コミュニティ意識の高揚事業		実施町会・自治会数		現状のまま継続										
7 地域リーダー養成事業	В	地域リーダー養成講座受講者数	_	見直して継続(手段を改善)										

事務事業名	1 地域防災力	5向_	上事業【先行型事業】	部	生活安全部		課	危機管理院	方災課		
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急~誰もが安全で安心	して暮らせ	るまち~						
松口計画	大施策(節)	1	災害に強いまちづくり(防災・減災)	vまちづくり (防災・減災)							
	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成	数値目標							
	基本的方向 1 安全・安心を守る知識・組織・備えの充実			指標名	単位	現状値	恒 (H27)	目標値(H31)			
総合戦略	具体的な施策	1	地域主体の防災活動実施のための支援による地域防災力の強化	町会・自治会等	の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)	39. 6		
心 口 类似口		• 地	・地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の充実・強化		発生件数	件	52	8(H26年)	510		
	事業内容	や、 ・消	乳幼児・高齢者・女性等の災害弱者への配慮に努める。 防団を充実し、市民の防災意識を高めるとともに、地域	刑法犯認	知件数	件	1, 27	1(H26年)	1, 100		
		防災	力の向上と地域間の連携を促進する。								

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		事業の評価
Н27	災害弱者である乳幼児に対する災害用備蓄品の整備を図った。離乳食、おやつ、哺乳瓶・消毒 剤、おしりふき、紙おむつ、粉ミルク、電気ボット、保温ボットを購入、粉ミルクは倉庫(伊勢 野)。電気ボット、保温ボットは小中学校15校。雕乳食等は小学校10校の避難所へ備蓄した。ま	5, 622	1	H29年度の活動の実施状況の評価A: 概ねできた(80%以上)B: あまりできなかった(80%未満)C: 活動できなかった
пи	た、子育て親子の防災防災教室6回、防災知識出前講座3回実施した。 消防団が災害時に活動するための装備(救助用編み上げ靴237足)及び災害時市民が活用できる 資機材(簡易破壊救助器具20セット)を配備し、地域防災力の向上を図った。	3, 622	理由	児童館及び子育て支援ひろばに出向き、災害弱者である乳幼児の保護者を対象に防災教室を開催し、災害から子どもを守るための対策について意見交換を行い、防災意識の醸成が図られた。
H28	 子育て親子の防災教室6回、防災知識出前講座5回実施。		2	H29年度のKPI達成度
H28	講座にあわせ意見交換を実施した。	0	•	A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)
				子育て親子防災教室6回、防災知識出前講座7回を行い市民一人ひとり
H29	 子育て親子の防災教室6回、防災知識出前講座7回実施。	0	曲	の防災意識の醸成を図り、地域防災力の向上に努めたと考える。
Н29	講座にあわせ意見交換を実施した。		3) 成果向上のための課題と対応策
				自主防災組織の高齢化による担い手不足による地域防災力の低下が懸
H30	 子育て(乳幼児)親子防災教室、防災知識出前講座の実	0	題	夏 念される。
Н30	施する。 	0		オ 子育て親子防災教室や防災知識出前講座などを通じて、各自主防災組 織が実施する防災訓練への参加を促すなど、防災意識の醸成を図る。
	スキャ(図外旧)朝ス陆巛教会 は巛知塾山治護庫の字			● : 現状のまま継続 : 休止・廃止 : 終了・完了
H31	子育て(乳幼児)親子防災教室、防災知識出前講座の実施する。	0		方向性 :見直して継続 :他事業と統合して継続
				□→ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
研修会・意見交換会実施回数(年間)	同	1	計画	3	3	3	3	3
切形云・息元父侠云夫旭回奴(中间)	쁘	1	実績	9	11	13		

事務事業名	2 自主防災約	且織了	育成事業	部	生活安全部		課	危機管理隊	方災課				
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急~誰もが安全で安心	して暮らせ	るまち~								
松口計画	大施策(節)	1	災害に強いまちづくり(防災・減災)	景に強いまちづくり (防災・減災)									
	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成			数値目	標						
	基本的方向	1	安全・安心を守る知識・組織・備えの充実		指標名	単位	現状値	i (H27)	目標値(H31)				
総合戦略	具体的な施策		地域主体の防災活動実施のための支援による地域防災力の強化			%	32.6(H25年度)	39. 6				
松口製品		組	織の高齢化による担い手不足を解消し、地域防災力の強 図るため、自主防災組織の防災訓練の実施や、資機材整	交通事故	発生件数	件	528	B(H26年)	510				
		備等	の支援を行うとともに、研修会や意見交換会を開催す	刑法犯認	知件数	件	1, 27	l(H26年)	1, 100				
			また、自主防災組織の取り組みを通して、市民一人ひと 意識の醸成を図る。										

	り ツ 忠 峨 ツ 藤		
	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)	事業の評価
H27	自主防災組織の充実・強化を図るため、各自主防災組織に対し資機材費補助金を支給し、資機材の整備を図った。また、火山災害対策として、火山灰による健康被害の軽減を図るため防じんマスクを備蓄した。 資機材購入補助:43団体、4,256,076円 備蓄品:防じんマスク19,360枚 1,986,336円 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努めた。	6, 243	 ① H29年度の活動の実施状況の評価 ● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助・共助の取組みの必要性について情報発信を行い、地域防災力の向上に努めるとともに、自主防災組織との連携強化に努めた。また、自主防災組織が災害時において避難
H28	グリーンパーク第2八潮町会へ自主防災組織結成についての働きかけを行った。 自主防災組織育成事業として、避難所開設及び運営に関する研修会等を実施。 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努めた。	270	所運営を円滑に実施できるよう、研修会を行い防災力の向上を図った。 ② H29年度のKPI達成度 ■ A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)
H29	グリーンパーク第2八潮町会に自主防災組織の結成の働きかけを行い、 結成に至った。 (平成29年6月24日結成) 自主防災組織育成事業として、避難所運営に関する研修会等を実施。 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取組みの必要性 について周知を図り、防災力の向上に努めた。	97	を行うとともに、自主防災組織の結成の働きかけを行い、結成に至った。 ③ 成果向上のための課題と対応策
Н30	自主防災組織育成事業として講演会又は研修会を実施する。 る自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取 組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努め る。	357	課 平成29年度に全町会・自治会に自主防災組織が結成されたものの、 題 各自主防災組織の防災に対する対応に格差が生じている。 対 講演会、研修会等を開催し、核となる人材の育成、組織相互の連携強化を図ったいと。また、今後、新規設立町会(マンション)があった
Н31	自主防災組織育成事業として講演会又は研修会を実施する。 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取 組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努め る。	357	# 場合は、自主防災組織の結成の働きかけを行う。 :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了 方向性 :見直して継続 :他事業と統合して継続 → ■ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他

KPI名	単位	現状値	H27		H28	H29	H30	H31	
自主防災組織結成率(累計)	%	97 7	計画	100	100	100	100	100	
日主的火租椒和风华(糸司)	/0	91.1	実績	98	98	100			

事務事業名	3 交通安全指		・教育事業	部	生活安全部		課	交通防犯詞	果	
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急~誰もが安全で安心	して暮らせ	るまち~					
松口計画	大施策(節)	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり(交記	通安全)						
	基本目標 4 自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成		数值目標							
	基本的方向	1	安全・安心を守る知識・組織・備えの充実		指標名	単位	現状値	<u>i</u> (H27)	目標値(H31)	
総合戦略	具体的な施策	2	地域で取り組む安全で安心なまちづくり	町会・自治会等の	の地域活動への参加率	%	32.6	H25年度)	39. 6	
松口料哈		・自	・自転車事故の発生率が高いことから、「自転車の安全な利		発生件数	件	528	8(H26年)	510	
	事業内容	用の	転車争成の発生学が高いことから、「自転車の女主な利」 促進に関する条例」の制定に合わせて、スケアード・スイト教育技法を用いた交通安全教室を中学校で実施す	刑法犯認知	知件数	件	1, 27	l(H26年)	1, 100	
		る。								

				_	
		事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)		事業の評
11	F	子どもたちの発達段階に応じた交通安全教室や高齢者の 特性を踏まえた交通安全教室を実施したが、スケアー	0	1	H29年度の活動の実施状況の評価A:概ねできた(80%以上)B:あまりできなかっす
Н	121	ド・ストレイト教育技法を用いた中学校の交通安全教室 は実施できなかった。	0	理由	スケアード・ストレイト教育技法を月 中学校で実施したことから、実績状況
Н		スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室 を八潮中学校と大原中学校で実施するとともに県教育局	569	2	H29年度のKPI達成度
		主催で八幡中学校でも実施した。		•	A: 達成した (100%) B: 概ね達成できた 2 校の中学校でスケアード・ストレイト
н	H29 スケアード・ストレイ	スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室	569	理由	した。また、その他に子どもたちの発達は
11	23	を八條中学校と八幡中学校で実施した。	303	3	成果向上のための課題と対応策
	[0.0]	スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室	654	課題	中学生が在校中の3年間で最低1回は2 を用いた交通安全教室を体験できる』 確保と学校との調整が必要である。
	[30]	を潮止中学校と八潮中学校で実施する。	004	対応	スケアード・ストレイト教育技法を月 交通ルール遵守に大変効果のある事業 がら計画的に実施する必要がある。
Н		スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室 を大原中学校と八條中学校で実施する。	661		● :現状のまま継続 : 方向性 :見直して継続 :
					重点化(拡充)

	事業の評価											
1	H29年度 <i>0</i>	つ活動の実	施状況の評価	西								
	A:概ねでき	た(80%以上)	B:あまりで	きなかった(80%未満)	C:清	舌動できな	いかった					
理由				法を用いた交流 績状況は概ね								
2	H29年度のKPI達成度											
	A:達成し#	= (100%)	B:概ね達	成できた(80%以上)	C:達	成できなかっ	た(80%未満)					
理由												
3	成果向上	のための訳	果題と対応策	Į								
誤匙	を用いた	交通安全教		回はスケアー きるようにすっ る。								
対応	スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室は、自転車の 交通ルール遵守に大変効果のある事業であることを説明し理解を得な がら計画的に実施する必要がある。											
		● :現状	のまま継続	:休止•廃」	止	:終了•完	了					
	方向性	:見直	して継続	:他事業と	統合して	継続						
			直点化(拡充)	手段を改善	効率・	簡素化	その他					

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
交通安全教室実施回数(年間:中学	枋	1	計画	1	2	2	2	2
校)	110	1	実績	0	3	2		

事務事業名	4 防犯活動音	∳及 ႃ	事業	部	生活安全部		課	交通防犯詞	果				
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急~誰もが安全で安心	して暮らせるまち~									
松口計画	大施策(節)	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり(防犯)	のない安全で安心なまちづくり(防犯)									
	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成	数值目標									
	基本的方向 1 安全・安心を守る知識	安全・安心を守る知識・組織・備えの充実		指標名	単位	現状値	(H27)	目標値(H31)					
総合戦略	具体的な施策	2	地域で取り組む安全で安心なまちづくり	町会・自治会等	の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)	39. 6				
松口料哈		・地域主体の取り組みを促進するため、地域における防犯パトロールなどの活動を支援する。		交通事故	発生件数	件	528	8(H26年)	510				
	事業内容			刑法犯認	知件数	件	1, 27	1(H26年)	1, 100				

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)
H27	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めた。 また、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図った。	2, 237
Н28	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めるとともに、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図った。また、青色回転パトロール車を導入し防犯活動の充実を図った。	2, 583
H29	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めるとともに、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図った。また、青色回転パトロール車を活用した防犯活動の充実を図った。	2, 847
Н30	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めるとともに、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図る。 また、青色回転パトロール車を活用した防犯活動の充実を図る。	3, 364
Н31	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めるとともに、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図る。 また、青色回転パトロール車を活用した防犯活動の充実を図る。	3, 167

						事第	€の]	评価					
1)	H29年度の)活重	力の	実施状	沢の評価	5						
		A:概ねでき	t=(80°	%以_	E)	B:あまりで	きなか・	った(80%未満)		C:7	舌動できれ	なれ	かった
	田冊	た。また、	青色	回車	云パトロ	ュール車を	:導力	べを貸与する (して、防) ごきたと評価	[[活]	動のす			
2	2)) H29年度のKPI達成度											
		A:達成した	: (10	0%)		B:概ね達	求でき	た(80%以上)		C:達	成できなかっ	った	(80%未満)
	田冊	計画どおり地域防犯力の強化が図られ、刑法犯認知件数も数値目標を 達成したことから、KPIは概ね達成できたと判断した。											
3		成果向上	のた	めの	り課題	と対応策							
	題	各地域に	おい	てÉ	主防狐	ロパトロ	ール	難しい状況 隊が結成る 況である。	され				
	対 持続可能な団体及び活動の在り方について、先進的な取組みを調査研究するとともに団体間で情報を共有しながら検討を進める必要がある。												
			•	:現	状のま	ま継続		:休止•廃」	Ŀ		:終了•5	記	了 了
		方向性		: 見	直して	継続		:他事業と	統合	iして	継続		
				>	重点化	比(拡充)	手	段を改善	交	」率•	簡素化		その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
活動団体数(累計)	団体	45	計画	45	46	47	48	49
伯數四件数(系訂)	四件	40	実績	45	45	44		

事務事業名	5 防犯施設團	を備-	事業	部	生活安全部		課	交通防犯詞	果				
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急~誰もが安全で安心	して暮らせるまち~									
松口計画	大施策(節)	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり(防犯)	のない安全で安心なまちづくり (防犯)									
	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成			数値目標 単位 現状値 (H27) 目標値 (H31)							
	基本的方向	1	安全・安心を守る知識・組織・備えの充実		指標名	単位	現状値	(H27)	目標値(H31)				
総合戦略	具体的な施策	2	地域で取り組む安全で安心なまちづくり	町会・自治会等	の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)	39. 6				
心口料店					発生件数	件	528	8(H26年)	510				
	事業内容	事業内容 ・ 犯罪 を設置	罪の起きにくいまちづくりを推進するため、防犯カメラ 置するとともに、防犯灯の整備を促進する。	刑法犯認	知件数	件	1, 27	1(H26年)	1, 100				

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)
Н27	八幡小学校、中川小学校、大原小学校、大原中学校の要望を踏まえ草加警察署と協議して学校周辺の道路上に防犯カメラを各校4基合計16基設置した。 町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付したことにより38基が新設された。	30, 513
Н28	松之木小学校、柳之宮小学校、八潮中学校、八幡中学校の要望を踏まえ草加警察署と協議して学校周辺の道路上に防犯カメラを各校4基合計16基設置した。 町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付したことにより103基が新設された。	33, 421
Н29	八條小学校、八條北小学校、八條中学校の要望を踏まえ草加警察署と協議して学校周辺の道路上に防犯カメラを各校4基合計12基設置した。また、大原公園内に防犯カメラを設置した。町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付したことにより38基が新設された。	33, 052
Н30	市内の既存公園内(松之木公園、どんぐり遊歩道)に防 犯カメラを計画的に整備する。 町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付し整備を促 進する。	27, 494
Н31	市内の既存公園内に防犯カメラを計画的に整備する。 町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付し整備を促進する。	27, 510

					事業	美の	評価					
1	H29年度の)活動	の実	施状汤	の評値	西						
•	A:概ねでき	t=(80%)	以上)	B:	あまりで	きなか	った(80%未満		C:7	舌動でき	<i>31</i>	かった
田苗	計画どおり町会等にあることから	よる防	犯灯	のLI	ED化	が追	んでおり	、 	方犯效	果も上た		
② H29年度のKPI達成度												
•	A:達成し <i>t</i>	<u>=(100%</u>	6)	В:	:概ね達	成で	きた(80%以上)	C:達	成できなか・	ot:	(80%未満)
理由	HILL CAS A DAMESTA A CINCIE OF ALL MANAGEMENT OF MICHES AND CALL											
3	成果向上	のため	の課	題と	対応策							
課題	更なる防御を図る。					ため)、町会自	治会	会が抱	える課題	項领	等の解
対応												
		::	現状の	のまま	継続		:休止•廃	止		:終了•3	記	7
	方向性	:,	見直し	して継	続		:他事業。	:統1	合して	継続		
		\rightarrow	重	点化(拡充)	=	-段を改善		効率∙	簡素化		その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
防犯カメラ設置数(累計)	並.	58	計画	74	90	102	102	102
例犯ガグノ政直数(糸司)	至	56	実績	74	90	103		

事務事業名	6 コミュニラ	テイブ	意識の高揚事業	部	市民活力推進部		課	市民協働技	推進課			
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ〜学びとつながりをプ	大切にする	まち~							
松口計四	大施策(節)	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり(lあいと連帯感にみちた地域社会づくり (コミュニティ)								
	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成	数值目標								
	基本的方向	2	顔の見える安全で安心なコミュニティの形成		指標名	単位	現状値	(H27)	目標値(H31)			
総合戦略	具体的な施策	1	地域の連携による市民のつながりの強化	町会・自治会等	の地域活動への参加率	%	32.6	H25年度)	39. 6			
心口料店		. ₇	どもを中心として、地域のコミュニティ意識を醸成する	交通事故	発生件数	件	528	8(H26年)	510			
	事業内容	ため、町会・自治会等の公民館を学びや遊びの場として開放し、活用する。		刑法犯認	知件数	件	1, 27	1(H26年)	1, 100			
								·				

	事業の実施状況(見込み)	事業費(千円)		事業の評価
			1	H29年度の活動の実施状況の評価
H27	町会自治会館での事業の活性化を図るため、新たなコ	0		A: 概ねできた(80%以上) B: あまりできなかった(80%未満) C: 活動できなかった
1121	ミュニティ活動に関する補助金事業を検討した。	O O	理由	新たなコミュニティ活動に関する補助金事業を募集し、未加入世帯も 含めた地域の子ども対象の事業2事業を実施した。 (「子ども英会話 クラブ」(伊草団地)、「親と子の映画鑑賞会」(柳之宮))
	マヘカルへかって半ってはルナロフェル・ガナム		2	H29年度のKPI達成度
H28	町会自治会館での事業の活性化を図るため、新たなコ ミュニティ活動に関する補助金事業を検討し新設した。	0		
	ミューノイ伯助に関する補助金事業を被削し利取した。			A: 達成した(100%) B: 概ね達成できた(80%以上) ● C: 達成できなかった(80%未満)
			珊	実施希望を調査し、3町会(3事業)が希望する中、2事業の実施にとど
1100	各町会自治会から選出される、コミュニティ協議会役員へ説明し、町会自治会館で実施可能な事業を聴取した。 実施希望のあった各町会自治会に、新たなコミュニティ	161		実施布室を調査し、3両云(3事業)が布室する中、2事業の実施にこと まったため。
П29	活動に関する補助金を交付するとともに事業を実施し	101	3	成果向上のための課題と対応策
	た。			各町会自治会への、過大な負担とならないような事業提案が必要である。
			課題	各町会自治会への、過大な負担とならないような事業提案が必要である。 子どもを中心とした活動への理解や安全への配慮が必要となる。 総会資料等により事業の継続性を数年間確認する必要がある。
****	実施希望のあった各町会自治会の事業決定をし、また、		咫	総会資料等により事業の継続性を数年間確認する必要がある。
H30	事業提案していく。(1町会1事業予定)	200		実施実例の紹介や事業計画を提案する。
			対	保険の加入や指導者の経験を確認する。
		 	応	町会自治会総会資料や口頭での事業継続の調査を行う。
	実施委問のなった久町へ自治への東業池字がしまた	 		● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了
H31	実施希望のあった各町会自治会の事業決定をし、また、 事業提案していく。 (7町会7事業予定)	1, 400		方向性 :見直して継続 :他事業と統合して継続
	サ本純木しく・、。(157五1 東木)た)		•	
				→ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
実施町会・自治会数(累計)	町会・自治会	()	計画		_	3	6	10
	""]五、日伯五		実績	0	0	2		

事務事業名	7 地域リータ	ř <u>}</u>	養成事業	部	市民活力推進部		課	市民協働技				
総合計画	施策の柱(章)	1	育文化・コミュニティ〜学びとつながりを大切にするまち〜									
松口計四	大施策(節)	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり(れあいと連帯感にみちた地域社会づくり(コミュニティ)								
	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成			数値目	標					
	基本的方向	2	顔の見える安全で安心なコミュニティの形成		指標名	単位	現状値	直(H27)	目標値	(H31)		
総合戦略	具体的な施策	2	つながりづくりを牽引する人材の育成	町会・自治会等	の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)		39. 6		
松口料哈	事業内容 ・地域コミュニティを活性化するため、地域連携に向けた取り組みをコーディネートする地域リーダーを養成する。			交通事故	発生件数	件	52	8(H26年)		510		
		刑法犯認	知件数	件	1, 27	1(H26年)		1, 100				

	事業の実施状況(見込み)	事業費 (千円)
Н27	八潮市コミュニティ協議会と市内NPO団体との協働により地域活動入門講座を実施。(県の優先配分事業補助金活用)	150
Н28	アクティブシニアの社会参加を推進するための県助成金 を活用し、市民活動支援コーディネーター養成講座を計 画したが採択されなかった。 やしお孤立問題研究会との協働による避難所運営模擬体 験講座を希望町会で実施した。	0
Н29	地域リーダー養成講座を計画した。 市民大学の卒業生(OB会)や市内NPO団体、町会自治会と の協働に向けた取組みを検討した。	0
Н30	地域リーダー養成講座を計画する。 市民大学の卒業生(OB会)や市内NPO団体、町会自治会と の協働に向けた取組みを検討する。	0
Н31	地域リーダー支援事業 各地区(3町会)にて地域リーダーによるコミュニティ 推進事業を実施。	600

	事業の評価																			
1																				
	A: 概ねできた(80%以上) ● B: あまりできなかった(80%未満) C: 活動できなかった										った									
理由	理 中 平成30年度実施に向け、地域リーダー養成講座を計画した。 市民大学の卒業生(0B会)や市内NPO団体、町会自治会との協働の取組 みは、検討するまでには至らなかった。																			
2	H29年度の	KPI達	成度	Ę																
	A:達成した	= (100%)		B:概ね達	求でき	た(80%以_	E)	C:達	成できなか	った(80%未満)									
理由																				
3	成果向上	のための説	果題	と対応策																
課題	・地域リーダーの養成は、地域団体との連携が必要。																			
対 継続性を要するため、中長期的な計画を立て、定期的に実施できるような環境を整備する。																				
	:現状のまま継続:休止・廃止:終了・完了																			
	方向性	● :見直	して	継続		:他事業	と統合	うして	継続											
		<u></u>	点	比(拡充)	■手	段を改	善	功率•	簡素化	□ 重点化(拡充) ■ 手段を改善 対率・簡素化 その他										

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
地域リーダー養成講座受講者数	,	0	計画	_	_	_	6	10
(累計)		U	実績	0	0	0		